

静岡県文化財年報

(令和7年度)

静岡県スポーツ・文化観光部

新指定の文化財



国指定重要文化財（考古資料） 静岡県伊場遺跡群出土品（浜松市） 写真：浜松市提供

新指定の文化財



国指定史跡 韮山城跡附付城跡群（伊豆の国市） 写真：伊豆の国市提供



静岡県指定有形文化財（工芸品） 銅製線刻大日如来二尊像懸仏（小山町教育委員会）

新指定の文化財



静岡県指定有形文化財（彫刻） 木造四面女神坐像・木造隨身坐像（茶畑浅間神社）



静岡県指定有形文化財（考古資料） 定仙大和尚五輪塔（真珠院）

民俗芸能の公演



ふじのくに民俗芸能フェスティバル（重要無形民俗文化財 山名神社天王祭舞楽）



関東ブロック民俗芸能大会 東京大会（重要無形民俗文化財 西浦の田楽） 写真：浜松市提供

埋蔵文化財の記録保存調査



中桁・中ノ坪遺跡（富士市） 平安時代竪穴建物群検出状況（東から）



川合遺跡（静岡市） 第3面全景（東から）



川合遺跡（静岡市） 第3面西側流路杭検出及び遺物出土状況

目 次

巻頭カラー

- 国指定重要文化財（考古資料） 静岡県伊場遺跡群出土品（浜松市）
- 国指定史跡 韮山城跡附付城跡群（伊豆の国市）
- 静岡県指定有形文化財（工芸品） 銅製線刻大日如来二尊像懸仏（小山町教育委員会）
- 静岡県指定有形文化財（彫刻） 木造四面女神坐像・木造隨身坐像（茶畑浅間神社）
- 静岡県指定有形文化財（考古資料） 定仙大和尚五輪塔（真珠院）
- ふじのくに民俗芸能フェスティバル（重要無形民俗文化財 山名神社天王祭舞楽）
- 関東ブロック民俗芸能大会 東京大会（重要無形民俗文化財 西浦の田楽）
- 中桁・中ノ坪遺跡（富士市） 平安時代竪穴建物群検出状況（東から）
- 川合遺跡（静岡市） 第3面全景（東から）
- 川合遺跡（静岡市） 第3面西側流路杭検出及び遺物出土状況

例 言

静岡県市町位置図

第1部 指定文化財の保護

- 1 事業概要・・ 1
- 2 指定文化財等・・ 1
 - (1) 文化財保護審議会の開催 (2) 国指定文化財の指定 (3) 県指定文化財の指定・指定解除
 - (4) 新規国登録文化財 (5) 文化財保護指導・巡回活動の実施 (6) 文化財保護対策調査の実施
 - (7) 文化財防火デー (8) 文化財等救済支援員 (9) 銃砲刀剣類登録審査会の開催
- 3 文化財関係補助事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
 - (1) 国指定 (2) 県指定 (3) 指定文化財管理（国指定） (4) 指定文化財管理（県指定）
- 4 文化財活用事業・・ 8
 - (1) 市町計画作成支援 (2) 文化財保存活用計画 (3) 日本遺産 (4) しずおか遺産
 - (5) 公開活用事業 (6) 情報発信 (7) 「ふじのくに文化財保存・活用推進団体」認定・表彰
 - (8) 無形民俗文化財の保存継承に向けた取り組み
- 5 研 修・・ 14
 - (1) 文化財行政職員研修等 (2) 地域人材研修

第2部 埋蔵文化財の保護

- 1 事業概要・・ 16
- 2 埋蔵文化財・・ 17
 - (1) 静岡県及び市町の調査体制 (2) 遺跡周知事業の実施 (3) 埋蔵文化財に係る届出等の周知
 - (4) 静岡県実施の試掘・確認調査
- 3 埋蔵文化財の保存・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
 - (1) 記録保存調査及び保存処理業務の実施 (2) 記録保存調査の概要 (3) 保存処理業務
 - (4) 報告書の発刊
- 4 出土文化財の管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
 - (1) 出土文化財保管庫の整備 (2) 出土文化財評価会 (3) 出土文化財の貸出等
- 5 埋蔵文化財の活用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39
 - (1) 体験授業・出前授業 (2) 古代体験まつり フェスタ埋文 2025
 - (3) 遺跡調査報告会『しずおかの原像をさぐる』 (4) 埋文セミナー・考古学技術体験
 - (5) 常設展示 (6) 出張展 (7) 文化財交流拡大事業 (8) 調査指導等の依頼対応

第1部 指定文化財の保護

1 事業概要

令和2年3月に策定した『静岡県文化財保存活用大綱』に示す、3つの基本方針である「文化財の確実な保存」「文化財を支える多様な人材の育成」「文化財の効果的な活用」を確実なものとするため、「しずおか遺産」の新規認定、「ふじのくに民俗芸能フェスティバル」の開催など、各種事業を実施した。また、令和6年度から開始した「文化財3次元データ整備」については、公開資料の追加やメタバース展示室の設置、小中学生向け授業用コンテンツの開発など、データ活用の充実を図った。

2 指定文化財等

(1) 文化財保護審議会の開催

県指定文化財の指定等について審議・答申を行い、貴重な文化財の保護に努めた。

開催回数 2回、指定件数 3件、指定解除件数 1件、県指定文化財総数 561件

静岡県文化財保護審議会委員（令和7年度）

No.	担当分野	氏名	所属・現職等
1	建造物	土屋 和男	常葉大学教授
2	建造物	杉野 丞	愛知工業大学名誉教授
3	絵画	片桐 弥生	静岡文化芸術大学教授
4	絵画	吉田 恵理	静嘉堂文庫美術館学芸員
5	彫刻	田島 整	上原美術館上席学芸員
6	工芸	清水 健	東京国立博物館上席研究員
7	工芸	内田 篤呉	MOA美術館長
8	書跡・典籍・古文書	貴田 潔	静岡大学准教授
9	書跡・典籍・古文書	酒入 陽子	流通経済大学教授
10	民俗文化財	石垣 悟	國學院大学准教授
11	民俗文化財	齊藤 裕嗣	独立行政法人日本芸術文化振興会 プログラムディレクター
12	史跡・考古資料等	日高 慎	東京学芸大学教授
13	史跡・考古資料等	村木 二郎	国立歴史民俗博物館准教授
14	史跡・考古資料等	篠原 和大	静岡大学教授
15	名勝	木下 剛	千葉大学教授
16	天然記念物（動物）	安藤 正規	岐阜大学准教授
17	天然記念物（植物）	徳岡 徹	静岡大学教授
18	天然記念物（地質鉱物）	瀨瀬 佑衣	名古屋大学准教授
19	まちづくり	脇田 和美	東海大学教授
20	観光	大久保 あかね	静岡県立大学教授

(2) 国指定文化財の指定

ア 記念物（史跡）

「**韮山城跡附付城跡群**」（伊豆の国市） 令和7年9月18日指定

15世紀末頃に小田原北条氏の祖である伊勢盛時（宗瑞）が伊豆国の本拠として築き、後に北条氏の領国西側の拠点となった城郭跡である。戦国時代の築城の様子や、その終焉期の戦闘状況を知る上で、重要な遺跡である。

イ 美術工芸品（考古資料）

「**静岡県伊場遺跡群出土品**」（浜松市） 令和7年9月26日指定

天竜川下流、浜松南部平野の北東部に立地する、弥生時代後期の環濠集落である伊場遺跡を中心とした大規模遺跡群からの出土品である。これらの出土品は、弥生時代の祭祀や生業、地域間の交易・交流、葬送の在り方をよく表しており、弥生文化における西日本からの東漸の在り方を考究する上で、欠かせない貴重な資料である。

(3) 県指定文化財の指定・指定解除

ア 指定

(ア) 有形文化財（考古資料）

「**定仙大和尚五輪塔**」（伊豆の国市） 令和7年11月21日 第719号

本塔は北条氏の本拠のあった伊豆の国市守山地区に位置する真珠院に所在する紀年銘のある静岡県内最古の五輪塔である。墓地の整備に伴い昭和55年（1980）に本堂西側墓地内の現在地に移動された。

本塔は空風輪が欠失しており、火輪・水輪・地輪のみが現存する。いずれも石材は灰白色の安山岩であるが、産地は不明である。現状では火輪の上に後補の宝篋印塔の屋根と相輪が載る。

地輪から火輪までの高さが1.39m、地輪幅0.62m、火輪幅0.66mの大型品である。火輪は降棟が直線的で殆ど反りがなく、軒口が狭いという特徴は県内に類例がない形態である。

水輪の四方には、関西的な特徴を示す、月輪を巡らせた蓮華坐に座る如来坐像を浮彫りにしている。

地輪の四方には銘文が刻まれ、鎌倉時代後期の正安4年（1302）に定仙大和尚のために承慶僧都、左金吾政員、金剛佛子権律師玄頂らが中心となり、多くの人々が結縁して、造立したことが窺える。

このように本塔は、在銘塔として県内最古であり、県内で類例のない特徴的な形態であることから、石塔を造立する文化が東国に普及する時期の静岡県内における石塔の一形態を示す点で貴重である。加えて、石塔に記された銘文からその造立過程を示す事例は極めて少なく、優れた資料といえる。

(イ) 有形文化財（彫刻）

「**木造四面女神坐像・木造隨身坐像**」（裾野市） 令和7年11月21日 第720号

本女神坐像・隨身坐像は、いずれも針葉樹の一材から彫出する一木造りの像で、平安時代後期の作である。

女神坐像は、茶畑浅間神社に伝来したことで、頭髮の表現、服制などから富士山信仰に係る神像と推察され、富士山信仰の遺品として全国的に見ても希少な神像である。

2軀の隨身坐像は、髭の有無で老若一対を表現し、髭のない像は首を強く曲げて右方を向いている作例が特徴的である。また、神像に比べて外気に触れる環境に置かれるために破損し廃棄されやすい隨身坐像が今日に至るまで伝来したことは貴重な事例である。

3軀が当初より一具であったかは不明であるが、駿東地域における富士山信仰の中心の一つである茶畑浅間神社に伝来したことは、平安時代から続く富士山信仰の姿を示すものとしても重要な資料である。

木造四面女神坐像

像高 23.1cm 裾張 17.8cm 腹奥 9.1cm

木造隨身坐像（有髭）

像高 38.5cm 肘張 21.9cm 腹奥 9.4cm

木造隨身坐像（無髭）

像高 38.2cm 肘張 21.1cm 腹奥 10.6cm

（ウ）有形文化財（工芸品）

「銅製線刻大日如来二尊像懸仏」（小山町）令和8年3月23日指定 第721号

この懸仏は、明治時代末期に富士山東口六合目の石室修繕工事の際に発見されたもので、銘文から至徳元年（1384）に奉納されたことがわかる。

本資料は、銅製、鑄造で円形の鏡板に覆輪を模した隆帯を巡らす。懸垂のため、上方左右には円孔を持つ半円形の耳が設けられる。鏡板は中央が若干表側に向かって隆起する凸型であり、下部には、直径3.6cmの円形の切り欠きを持つ。

表面には、並坐する二軀の金剛界大日如来坐像と、その頭上に天蓋が陰刻される。大日如来坐像は、ともに宝冠を被り、智慧の象徴である智拳印を結ぶ。着衣は通例の大日如来像とは異なり、大衣と裙を着けることが特徴的である。天蓋は、中央に宝珠を配し、左右に傘が表現され、傘からは垂飾が垂下する。大日如来が坐す蓮華座の下部には蓮茎と思われる筋状の線と三脚の水盤が表される。

背面には銘文が陰刻され、富士浅間大菩薩という呼称、至徳元年（1384）という製作年代、相州糟矢庄大竹郷という地名、願主来賢という奉納者がわかるとともに、表面の大日如来が浅間神の本地仏として表されていることが明白である。

本資料のように鑄造した銅板に、尊像を線刻する例は、懸仏としては初期的な形態であり、尊像のやや稚拙な造形や図像的な混乱を来している状況とあわせ、製品の特徴は銘文の示す年代と合致する。

以上より、本資料は南北朝時代の懸仏製作の一面を示す作例として重要であるとともに、富士山信仰に関わる在銘最古の懸仏の遺例としても貴重である。

【法量】面径29.1cm、縁部厚0.34cm、重さ1,639g

【銘文】「相州糟矢庄大竹郷 富士浅間大菩薩 至徳元年甲子六月十九日 願主来賢」

イ 解除

（ア）有形文化財（工芸品）

「太刀 銘備前長船長義（額銘）裏に朱銘あり」昭和31年10月17日指定 第124号

県外移転のため、令和7年11月21日指定を解除。

（4）新規国登録文化財

官報告示された登録有形文化財・登録記念物一覧

登録（告示）日	区分	名称	所在地
令和7年8月6日	有形文化財（建築物）	小梳神社本殿	静岡市
令和7年8月6日	有形文化財（建築物）	小梳神社拝殿及び幣殿	静岡市
令和7年8月6日	有形文化財（建築物）	浮月楼明輝館	静岡市
令和7年11月17日	有形文化財（建築物）	旧関家住宅（つたや）主屋	磐田市
令和7年11月17日	有形文化財（建築物）	旧関家住宅（つたや）土蔵	磐田市
令和7年6月20日	登録記念物（名勝地関係）	浮月楼庭園	静岡市

(5) 文化財保護指導・巡回活動の実施

国・県指定文化財及び埋蔵文化財包蔵地の巡回調査を実施し、保存管理の状態を的確に掌握して適切な指導を行い、その保護に努めた。

保護指導員 48人 巡回調査員 25人 巡回対象地 376件

(6) 文化財保護対策調査の実施

ア カモシカ通常調査事業

南アルプス保護地域における特別天然記念物カモシカの保存管理を目標に実施する特別調査を補完するため、生息状況、生息環境、食害発生状況に関するモニタリングを行った。

イ 県内遺跡調査事業

埋蔵文化財の記録の作成又は保存に必要な資料を得るため、国・県の開発事業に伴う18件の試掘・確認調査と、3件の本発掘調査、27件の工事立会いを埋蔵文化財センターが実施した。

静岡県実施の試掘・確認調査については19頁、記録保存調査の概要は27頁を参照。

(7) 文化財防火デー

文化財防火デーには、新居関所跡（湖西市）、大瀬崎のビャクシン樹林（沼津市）をはじめ、県内各地の文化財で防災訓練が実施された。また、消防防災設備点検、防災指導、広報活動も県内各地で行われた。

(8) 文化財等救済支援員

災害発生時、被災した文化財の救済・応急的措置にあたる人材を「静岡県文化財等救済支援員」として登録し、必要な知識習得を図るため県内各地で講習会を開催した。令和7年度は10月に三島市、1月に焼津市、3月に浜松市で開催した。

(9) 銃砲刀剣類登録審査会の開催

銃砲刀剣類所持等取締法の規定に基づき、文化財として価値のある刀剣類及び古式銃砲の登録審査を行い、その管理に努めた。

実施回数 7回（東部・西部各2回、中部3回）	登録件数 269件（登録累計 72,632件）	
登録証再交付 42件	所有者変更 1,077件	製作承認 13件

3 文化財関係補助事業

令和7年度の文化財保存費補助事業は72件である。

国指定等は48件で、建造物保存修理等6件、伝統的建造物群1件、美術工芸品保存修理等4件、記念物保存修理等26件、発掘調査等10件、史跡等買上1件である。

県指定は24件で、建造物保存修理等7件、美術工芸品保存修理等4件、民俗文化財保存伝承・活用等6件、記念物保存修理等7件である。

なお、文化財管理費補助事業は38件で、国指定21件、県指定17件となっている。

(1) 国指定

補助事業者	文化財の名称	事業内容	国費補助率	県費補助率
宗教法人神部神社 浅間神社大歳御祖神社	神部神社浅間神社本殿 ほか15棟	建造物保存修理等	70	国庫補助残額の1/3以内
宗教法人三嶋大社	三嶋大社本殿、幣殿及び拝殿	建造物保存修理等	60	国庫補助残額の1/3以内
宗教法人智満寺	智満寺本堂	建造物保存修理等	55	国庫補助残額の1/3以内
一般財団法人野間文化財団	古谿荘玄閣棟ほか8棟	建造物保存修理等	65	国庫補助残額の1/3以内
宗教法人応声教院	応声教院山門	建造物保存修理等	75	国庫補助残額の1/3以内
所有者(個人)	友田家住宅	建造物保存修理等	85	国庫補助残額の1/3以内
焼津市	焼津市花沢	伝統的建造物群	50	国庫補助残額の1/3以内
宗教法人久能山東照宮	太刀銘真恒 他	美術工芸品保存修理等	50	国庫補助残額の1/3以内
宗教法人世界救世教	樵夫蒔絵硯箱	美術工芸品保存修理等	50	国庫補助残額の1/3以内
宗教法人世界救世教	色絵藤花文茶壺(仁清作) ほか69件	美術工芸品保存修理等	65	国庫補助残額の1/3以内
公益財団法人江川文庫	萑山代官江川家関係資料	美術工芸品保存修理等	65	国庫補助残額の1/3以内
磐田市	遠江国分寺跡	記念物保存修理等	50	国庫補助残額の1/3以内
掛川市	横須賀城跡	記念物保存修理等	50	国庫補助残額の1/3以内
掛川市	横須賀城跡(災害復旧)	記念物保存修理等	50	国庫補助残額の1/3以内
菊川市	菊川城館遺跡群	記念物保存修理等	50	国庫補助残額の1/3以内
島田市	諏訪原城跡	記念物保存修理等	50	国庫補助残額の1/3以内
島田市	島田宿大井川川越遺跡	記念物保存修理等	50	国庫補助残額の1/3以内
宗教法人久能山東照宮	久能山	記念物保存修理等	50	国庫補助残額の1/3以内
宗教法人久能山東照宮	久能山(災害復旧)	記念物保存修理等	70	国庫補助残額の1/3以内
宗教法人清見寺	清見寺(災害復旧)	記念物保存修理等	70	国庫補助残額の1/3以内
沼津市	興国寺城跡	記念物保存修理等	50	国庫補助残額の1/3以内
三島市	山中城跡(災害)	記念物保存修理等	70	国庫補助残額の1/3以内
富士宮市	大鹿窪遺跡	記念物保存修理等	50	国庫補助残額の1/3以内
富士宮市	富士山	記念物保存修理等	50	国庫補助残額の1/3以内
富士市	浅間古墳	記念物保存修理等	50	国庫補助残額の1/3以内
富士宮市	白糸ノ滝	記念物保存修理等	50	国庫補助残額の1/3以内
宗教法人柴屋寺	柴屋寺庭園	記念物保存修理等	70	国庫補助残額の1/3以内
沼津市	高尾山古墳	記念物保存修理等	50	国庫補助残額の1/3以内

宗教法人清見寺	清見寺庭園	記念物保存修理等	50	国庫補助残額の1/3以内
宗教法人清見寺	清見寺庭園（災害復旧）	記念物保存修理等	50	国庫補助残額の1/3以内
宗教法人臨濟寺	臨濟寺庭園	記念物保存修理等	50	国庫補助残額の1/3以内
宗教法人臨濟寺	臨濟寺庭園（防災施設整備）	記念物保存修理等	50	国庫補助残額の1/3以内
沼津市	旧沼津御用邸苑地	記念物保存修理等	50	国庫補助残額の1/3以内
沼津市	旧沼津御用邸苑地（防災施設整備）	記念物保存修理等	50	国庫補助残額の1/3以内
宗教法人葛見神社	葛見神社の大クス	記念物保存修理等	50	国庫補助残額の1/3以内
沼津市	大瀬崎のビャクシン樹林	記念物保存修理等	50	国庫補助残額の1/3以内
沼津市	市内遺跡	発掘調査等	50	国庫補助残額の1/2以内
熱海市	市内遺跡	発掘調査等	50	国庫補助残額の1/2以内
三島市	市内遺跡	発掘調査等	50	国庫補助残額の1/2以内
伊東市	市内遺跡	発掘調査等	50	国庫補助残額の1/2以内
島田市	市内遺跡	発掘調査等	50	国庫補助残額の1/2以内
富士市	市内遺跡	発掘調査等	50	国庫補助残額の1/2以内
磐田市	市内遺跡	発掘調査等	50	国庫補助残額の1/2以内
掛川市	市内遺跡	発掘調査等	50	国庫補助残額の1/2以内
藤枝市	市内遺跡	発掘調査等	50	国庫補助残額の1/2以内
伊豆の国市	市内遺跡	発掘調査等	50	国庫補助残額の1/2以内
沼津市	高尾山古墳	史跡等買上げ	80	国庫補助残額の1/3以内

（2）県指定

補助事業者	文化財の名称	事業内容
宗教法人清水寺	清水寺観音堂	建造物保存修理等
宗教法人龍潭寺	龍潭寺伽藍のうち山門	建造物保存修理等
宗教法人富士山本宮浅間大社	富士山本宮浅間大社社殿	建造物保存修理等
宗教法人静居寺	静居寺伽藍のうち本堂	建造物保存修理等
宗教法人窓泉寺	窓泉寺山門	建造物保存修理等
宗教法人窓泉寺	窓泉寺山門（R6→R7）	建造物保存修理等
伊豆の国市	旧上野家住宅	建造物保存修理等
宗教法人靈山寺	木造金剛力士立像	美術工芸品保存修理等
宗教法人清見寺	清見寺朝鮮通信使関係資料	美術工芸品保存修理等

建穂自治会	木造不動明王立像	美術工芸品保存修理等
宗教法人宝林寺	木造二十四善神立像 24 軀のうち 堅牢地神菩薩・散脂大将菩薩	美術工芸品保存修理等
伊東市	富戸の魚見小屋	民俗文化財保存伝承・活用等
掛塚屋台囃子保存会	掛塚祭屋台囃子	民俗文化財保存伝承・活用等
女河八幡宮氏子会	女河八幡宮例大祭神事	民俗文化財保存伝承・活用等
勇義社	海名野神明神社の人形三番叟	民俗文化財保存伝承・活用等
横尾歌舞伎保存会	横尾歌舞伎	民俗文化財保存伝承・活用等
富士宮囃子保存会	富士宮囃子	民俗文化財保存伝承・活用等
西浦田楽保存会	西浦の田楽	民俗文化財保存伝承・活用等
宗教法人大福寺	大福寺庭園	記念物保存修理等
宗教法人池宮神社	櫻ヶ池	記念物保存修理等
宗教法人永明寺	永明寺のイチョウ	記念物保存修理等
所有者（個人）	二枚橋の柏	記念物保存修理等
宗教法人慶昌院	慶昌院のカヤ	記念物保存修理等
所有者（個人）	田沢のイヌマキ	記念物保存修理等
所有者（個人）	伊達方の大ヒイラギ	記念物保存修理等

（３）指定文化財管理（国指定）

補助事業者	文化財の名称	事業内容
宗教法人久能山東照宮	久能山東照宮社殿	指定文化財管理
宗教法人神部神社浅間神社大歳御祖神社	神部神社浅間神社大歳御祖神社社殿	指定文化財管理
宗教法人臨濟寺	臨濟寺	指定文化財管理
宗教法人霊山寺	霊山寺仁王門	指定文化財管理
宗教法人富士山本宮浅間大社	富士山本宮浅間神社本殿	指定文化財管理
宗教法人智満寺	智満寺本堂	指定文化財管理
宗教法人油山寺	油山寺山門・三重塔他	指定文化財管理
宗教法人尊永寺	尊永寺仁王門	指定文化財管理
宗教法人富士浅間宮	富士浅間宮本殿	指定文化財管理
宗教法人方広寺	方広寺七尊菩薩堂	指定文化財管理
宗教法人寶林寺	寶林寺仏殿・方丈	指定文化財管理
宗教法人本興寺	本興寺本堂	指定文化財管理
公益財団法人江川文庫	江川家住宅	指定文化財管理
公益社団法人大日本報徳社	大日本報徳社大講堂	指定文化財管理
一般財団法人野間文化財団	古谿荘	指定文化財管理
所有者（個人）	黒田家住宅	指定文化財管理
所有者（個人）	大鐘家住宅	指定文化財管理

宗教法人清見寺	清見寺庭園	指定文化財管理
宗教法人柴屋寺	柴屋寺庭園	指定文化財管理
所有者（個人）	友田家住宅	指定文化財管理
宗教法人三嶋大社	三嶋大社本殿、幣殿及び拝殿	指定文化財管理

（４）指定文化財管理（県指定）

補助事業者	文化財の名称	事業内容
宗教法人富士山本宮浅間大社	富士山本宮浅間大社社殿	指定文化財管理
宗教法人清水寺	清水寺観音堂	指定文化財管理
宗教法人静居寺	静居寺伽藍及び惣門	指定文化財管理
宗教法人医王寺	医王寺薬師堂	指定文化財管理
宗教法人釣月院	釣月院本堂	指定文化財管理
宗教法人西山寺	西山寺本堂	指定文化財管理
公益社団法人大日本報徳社	淡山翁記念報徳図書館他	指定文化財管理
宗教法人龍華院	龍華院大猷院霊屋	指定文化財管理
宗教法人油山寺	油山寺書院他	指定文化財管理
宗教法人西楽寺	西楽寺本堂	指定文化財管理
宗教法人実相寺	実相寺庭園	指定文化財管理
宗教法人天宮神社	天宮神社本殿及び拝殿	指定文化財管理
宗教法人山名神社	山名神社本殿	指定文化財管理
宗教法人本興寺	本興寺奥書院	指定文化財管理
宗教法人応賀寺	応賀寺薬師堂	指定文化財管理
宗教法人天徳寺	天徳寺山門	指定文化財管理
宗教法人長楽寺	長楽寺庭園	指定文化財管理

4 文化財活用事業

(1) 市町計画作成支援

ア 地域計画作成

平成 31 年度の文化財保護法改正により、市町は区域内における文化財の総合的な保存・活用の具体的計画として「文化財保存活用地域計画」を作成し、国の認定を受けることができることとなった。本県では、令和 2 年 3 月に策定した「静岡県文化財保存活用大綱」に基づいて、県内市町の文化財保存活用地域計画の作成を促進し、研修会や個別相談対応、文化庁協議への同行などにより市町への支援を行っている。

令和 7 年度は、4 市町（富士宮市、島田市、森町、湖西市）が作成作業を行っており、このうち、富士宮市と島田市が作成した計画が文化庁長官に認定され、これまでの認定市町は計 14 市町となった。

「文化財保存活用地域計画」認定状況・申請予定	
令和 3～6 年度	浜松市 (R3)、磐田市 (R3)、伊豆の国市 (R4)、富士市 (R4)、焼津市 (R4)、袋井市 (R4)、藤枝市 (R5)、小山町 (R5)、掛川市 (R6)、三島市 (R6)、沼津市 (R6)、静岡市 (R6)
令和 7 年度	富士宮市 (12/19)、島田市 (12/19)
令和 8 年度以降申請予定	森町、湖西市

イ 歴史的風致維持向上計画

「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律」に基づく「歴史的風致維持向上計画」については、これまで本県では 5 市が策定し、認定を受けている。

歴史的風致維持向上計画策定市町					
市町名	三島市	掛川市	伊豆の国市	下田市	浜松市
国認定	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 30 年度	令和 3 年度

(2) 文化財保存活用計画

個別文化財の保存活用計画については、国指定の史跡 1 件と名勝 2 件が令和 7 年度に作成された。

作成者	指定種別	文化財名	作成
静岡市	国指定史跡	賤機山古墳	令和 8 年 3 月作成
清見寺	国指定名勝	清見寺庭園	令和 8 年 3 月作成
静岡市	国指定名勝	日本平	令和 8 年 3 月作成

(3) 日本遺産

全国では令和 2 年度までに計 104 件の日本遺産が認定され、当初予定の 100 件に達している。本県では 2 件が認定されている。

市町名	認定年度	認定名
三島市・函南町 (小田原市・箱根町)	平成 30 年度	「旅人たちの足跡残る悠久の石畳道一箱根八里で迎る遙かな江戸の旅路」
藤枝市・静岡市	令和 2 年度	「日本初「旅ブーム」を起こした弥次さん喜多さん、駿州の旅～滑稽本と浮世絵が描く東海道旅のガイドブック(道中記)～」

(4) しずおか遺産

「しずおか遺産」は、本県の魅力ある歴史文化資源を紹介するストーリーを県が認定する制度として令和4年度に創設した。ストーリーで文化財を紹介することで、本県の歴史文化に対する県民の理解を深めるとともに、魅力ある歴史文化資源として磨き上げ、観光利用につなげることを目的としている。スタートアップと連携した「SHIZUOKA INBOUND TOURISM INNOVATION2025」（観光振興課所管）の一環として実施した「仏像×五感体験」モニターツアーは、「ほとけ出づる祈りの里 伊豆」の観光利用につながるものである。

令和7年度は2件のストーリーを認定し、認定件数の合計は9件となった。

認定	タイトル・特徴	構成文化財所在市町（※代表市町）
7年度	駿河湾のめぐみと行き交う船 特徴：駿河湾と船にまつわる歴史遺産や眺望、漁と食の魅力	富士市※・沼津市
	ほとけ出づる祈りの里 伊豆 特徴：伊豆に古仏が多い謎と、仏像が伝える魅力	函南町※・熱海市・伊豆の国市・伊豆市・河津町
6年度	富士山の清流が織り成した産業革命 特徴：富士山麓の水を活かした紡績や発電所等の歴史遺産	小山町※・富士宮市
	田沼街道とまぼろしの城 特徴：田沼意次ゆかりの街道や城跡、伝統行事等の歴史遺産	牧之原市※・藤枝市・焼津市・吉田町
5年度	文武に秀でた今川一族 ～伝統を守る山西の地～ 特徴：今川縁の寺社や地域で受け継がれる食や伝統芸能	藤枝市※・焼津市・島田市・静岡市
	日本平が紡ぐ悠久の歴史文化回廊 特徴：眺望をキーワードに巡る日本平と周辺の文化財	静岡県・静岡市
4年度	近代教育に情熱をかけたしずおか人の結晶 特徴：明治の学校を中心とした地域の魅力	磐田市※・菊川市・森町・松崎町
	秋葉信仰と街道 特徴：南北の街道を行く歴史体験	浜松市※・湖西市・磐田市・袋井市・森町・掛川市・菊川市・牧之原市・御前崎市
	文学の聖地「伊豆」と温泉 ～癒しを求めた文豪たち～ 特徴：文豪の足跡を辿る旅路による新たな伊豆の魅力	伊豆市※・河津町・熱海市・伊豆の国市・伊東市

(5) 公開活用事業

ア しずおか文化財オータムフェア

静岡県の伝統・歴史に培われた文化財に対する県民の理解と関心を高めるために、文化財に身近に触れる機会創出の強調期間を文化の秋の10～11月に設けて、市町や文化財所有者の協力を得て各地のイベント等を展開させ、様々な文化財の楽しみ方と魅力をアピールした。

この事業は、平成13年度から令和元年度まで行ってきた「しずおか文化財ウィーク」の名称を令和2年度に「文化財オータムフェア」と改めて、より地域の文化財を楽しむことができるように内容の充実を図り、インターネット情報サイトの利用やWEB広報による情報発信を強化しながら推進している。

令和7年度は、多彩なイベントを県文化財ポータルサイト「レガシズ」やSNS広告、パンフレットを利用して広報するとともに、「しずおか遺産」の構成文化財や期間内に行われるイベントを巡るスタンプラリーを開催し、464,166人を動員した。

区 分	事 業 内 容	参加者等
文化財クローズアップ (しずおか遺産活用推進実行委員会事業)	開催日 令和7年11月15日(土) テーマ 「しずおか遺産」富士山の清流が織り成した産業革命 【特別見学会】 会 場 豊門公園、森村橋、水かけ菜畑景観地 【講演会】 会 場 豊門会館	120人
県埋蔵文化財センター事業	<u>文化財を学ぶ in 日本平夢テラス</u> 開催期間 令和7年10月11日(土)～11月24日(月振休) 会 場 日本平夢テラス テ ー マ 「しずおかのべらぼうな時代」 【ミニ講座】10月21日(火)・11月18日(火) <u>遺跡調査報告会「しずおかの原像をさぐる」</u> 開催日 令和7年10月18日(土) 会 場 韮山文化センター・韮山時代劇場 大ホール	計71,291人
県立中央図書館事業	地域資料特集展示	38,555人
市町協賛事業	特別公開、展示会、講演会、調査報告会、体験イベント、 ユニークベニューなどの実施 計26市町92事業	354,200人

イ 文化財交流拡大事業

令和3年度に、本県及び山梨県が取り組む「バイ・ふじのくに」の関連事業として、文化の面における新たな地域交流圏の創出に向けて、文化資源の魅力を見つめ直す契機とするために、それぞれの地域に育まれた特徴ある文化財を活用する事業を開始した。令和4年度には長野県、令和5年度には新潟県を加えて中央日本4県の連携を結実させた。

令和7年度は、各県で中央日本4県の地域性と交流に関わる歴史文化のテーマを取り上げて、文化財を通じて魅力を発信するイベントを実施し、連携して交流をPRした。

開催県	事 業 内 容
新潟県	テーマ：『甲斐・佐渡の金山と日本の鉱山文化：武田、上杉そして徳川へ』 シンポジウム：令和7年9月13日(土)、上越市民交流施設高田城址公園オーレンプラザホール、 参加者100人
長野県	テーマ：『あの音・その音・いい音～音に込められた想いや願い～』 展示会：令和8年2月7日(土)～3月8日(日)、長野県立歴史館、観覧者710人
山梨県	テーマ：『行ってみよう！“墳活”の旅～山梨・静岡・長野・新潟古墳じまん大会～』 シンポジウム：令和8年1月11日(土)、やまなしプラザオープンスクエア県民ひろば、参加者58人
静岡県	テーマ：『SENGOKU お国自慢対決』 シンポジウム：令和8年2月21日(土)、静岡県静岡労政会館 ホール、参加者95人 展示会：令和8年2月13日(金)～3月8日(日)、静岡市歴史博物館、観覧者14,712人 ※詳細は第2部5の埋蔵文化財の活用P47で報告

(6) 情報発信

ア 静岡県文化財ポータルサイト「レガシズ」

県内文化財のデジタル情報発信の総合的・一元的な窓口として、静岡県文化財ポータルサイト「レガシズ」を令和5年3月から開始した。

県内の国・県指定の文化財情報（しずおか文化財ナビ）をはじめ、文化財をめぐるモデルコース（レガシズ旅）、「しずおか遺産」の解説と動画による紹介、文化財の3Dによるデジタル展示（LEGA-SHIZU×3D）、無形民俗文化財に特化した情報検索と動画紹介（無形民俗文化財ナビ）、文化財関連イベントを紹介している。

令和7年度は、「しずおか遺産」ページの全面リニューアル、「LEGA-SHIZU×3D」のコンテンツ追加をはじめとした更新・拡充を行った。





ロゴマーク



トップページ

イ 文化財3次元データ整備

県内の歴史文化資源である文化財の3次元データを計測し、公開・活用することにより、保存上公開制約のある文化財の価値や魅力を発信する文化財デジタル情報発信を実装する事業を令和6年度に立ち上げた。教育・観光等への利用を促進するほか、高精度の3次元データは修復や災害に備えた記録として、文化財を将来に継承するために役立てる。

区分	事業内容
計測	<p>国・県指定文化財の彫刻（仏像）のうち、保存状態が良く、県民に是非知ってもらいたい37体を対象に選定し、フォトグラメトリの方法を利用して計測</p> <ul style="list-style-type: none"> ・霊山寺（静岡市清水区大内）：風神立像、雷神立像など20体 ・静岡市歴史博物館（静岡市葵区追手町）：新光明寺の阿弥陀如来立像、鉄舟寺の文殊菩薩坐像、霊山寺の金剛力士立像など13体 ・北條寺（伊豆の国市南江間）：観音菩薩坐像、阿弥陀如来坐像2体 ・金龍院（伊豆市大平）：不動明王坐像、千手観音立像2体
観光への展開	<p>文化財3Dを展示する設備（タッチパネルモニター2台、タブレット2台）を導入 県内の観光拠点施設や文化施設での展示利用の促進と巡回展示を開始</p>
教育への展開	<p>中学校における修学旅行の事前学習等で利用できる仏像3Dコンテンツを開発 「LEGA-SHIZU×3D」にコンテンツを掲載</p> 
交流への展開	<p>「仏像メタバースギャラリー」を制作し、開設（令和7年12月）</p> 
セミナー	<p>県内文化財関係者による考古資料・史跡などの3次元データ計測等を促進するため、専門家を招いて講義と実習を実施</p> <p>【静岡県文化財3Dセミナー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和8年2月17日（火）～18日（水） 静岡市歴史博物館及び駿府城跡

体験会	<p>情報発信の利用やアーカイブ化への参画を促進するため、文化施設に訪れる県民等に3次元データやメタバースをとおして文化財の魅力を体験してもらうイベントを開催</p> <p>【メタバース×3Dでめぐる静岡の仏像体験会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和8年2月1日（日）10時～16時、静岡市歴史博物館学習支援・市民活動スペース、参加者115人 <p>【「3Dデータでみる伊豆の仏像」講演会】上原美術館と主催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和8年2月22日（日）13時30分～15時30分、伊豆の国市葦山文化センター、参加者260人
-----	--

（7）「ふじのくに文化財保存・活用推進団体」認定・表彰

地域ぐるみ、社会総がかりによる文化財の保存・活用が求められており、これには文化財の価値を十分に理解し、地域に根ざした活動を行う民間団体の力が不可欠である。取組の一層の活性化に向けて、令和2年度に「ふじのくに文化財保存・活用推進団体」認定制度を創設し、令和7年度までに87団体を認定した。

さらに、認定された団体の中から特に優秀な活動実績を残した団体を表彰する知事褒賞制度を令和3年度に創設し、これまでに12団体を表彰した。



認定団体一覧 令和7年度認定団体（8団体）

所在市町	団体名
小山町	静岡おやま案内人 四季の旅人
沼津市	高尾山古墳を守る会
富士宮市	富士宮市郷土史同好会
富士宮市	富士宮市地域女性連絡会
掛川市	大須賀郷土研究会
磐田市	とよおか学び舎
浜松市	一般社団法人 College Impact Japan
浜松市	NPO 法人わたぼうしブランドデザイン

表彰団体一覧 令和7年度表彰団体（2団体）

所在市町	団体名
静岡市	建徳自治会 建徳神社・観音堂評議委員会
森町	山名神社天王祭舞楽保存会

（8）無形民俗文化財の保存継承に向けた取り組み

ア 「令和7年度ふじのくに民俗芸能フェスティバル」の開催

地域的特色が顕著であり、伝統ある無形民俗文化財（民俗芸能）を公開することにより、県民の理解と関心を喚起するとともに、各地における保存・伝承活動の活性化に寄与することを目的として開催した。

日 時 令和8年12月7日（日）

会 場 森町文化会館ミキホール 大ホール

参加者 650名

出演団体

(出演順)

No.	指定	文化財名称(所在地)	出演団体
1	県指定	三社祭礼囃子(掛川市)	三社祭礼囃子保存会
2	国指定	川名のひよんどり(浜松市)	川名ひよんどり保存会
3	国指定	法多山の田遊び(袋井市)	法多山田遊祭保存会
4	国指定	山名神社天王祭舞楽(森町)	山名神社天王祭舞楽保存会
5	県指定	掛塚祭屋台囃子(磐田市)	掛塚屋台囃子保存会

イ ふじのくに無形民俗文化財保存継承アドバイザー支援

『静岡県文化財保存活用大綱』に掲げる無形民俗文化財保護団体への支援として、民俗文化財の専門家4名をふじのくに無形民俗文化財保存継承アドバイザーに任命し、今後5～10年以内に継承が途絶える可能性がある、のべ保護団体4団体の意見を聞くとともに、継承に向けた助言を行った。

ウ 静岡県無形民俗文化財保存継承ネットワーク会議

無形民俗文化財を保存継承する保護団体は、地域社会の変容などにより、その保存継承に不安を抱えているため、その解決の方向性を探ることを目的に、国及び県の施策説明、保護団体間の課題・解決策の共有の場として、静岡県無形民俗文化財保存継承ネットワーク会議を静岡県教育会館すんぷら一ざ(静岡市)で開催した。

開催日時 令和8年3月19日(木)

会場 静岡県教育会館すんぷら一ざ(静岡市) オンライン併用

参加者 県内の保護団体18団体、15市町の文化財担当者

エ Webコンテンツ等魅力発信事業

無形民俗文化財の記録映像撮影及び紹介動画の作成し、Youtube上で紹介動画の公開を行った。無形民俗文化財の魅力発信を広く行うことで、鑑賞機会の創出を図っている。また、無形民俗文化財のPR動画をWeb広告で発信し、無形民俗文化財の価値や魅力を広く周知した。

5 研修

令和2年3月に策定した静岡県文化財保存活用大綱の基本方針2「文化財を支える多様な人材の育成」の取組として、文化財の保存・活用を担う文化財行政職員と地域人材に対する研修を行った。

(1) 文化財行政職員研修等

ア 文化財行政所管課長会議

令和7年4月25日、静岡県庁において、県内市町の文化財行政所管課長を対象に、近年の文化財をめぐる動向と本年度の県の計画を周知し、県と市町における文化財の連携を図る会議を開催した。参加者は34名で、県文化財課職員による説明と質疑応答を実施した。

イ 文化財行政基礎研修会

令和7年5月2日、静岡県庁において、県内の文化財行政に新たに配属された職員を対象に、文化財の体系や文化財行政の仕組みなど、通常の業務に必要な基礎知識の習得を図る研修会を開催した。参加者は34名で、県文化財課職員による説明のほか、質疑応答と意見交換を実施した。

(2) 地域人材研修

ア 観光の力で文化財を活かす研修会

令和8年2月13日、湖西市新居地域センターにおいて、県内各地の文化財関係者をはじめ、観光、商工、まちづくりなど多様な関係者を対象に、文化財を観光商品へと磨き上げるヒントを学ぶ研修会を開催した。参加者は41名で、公益財団法人浜松・浜名湖ツーリズムビューロー事業部長兼企画課長の伊藤典明氏による「遠州の文化財を活かした観光の取組」の講義を実施した後、「地元において今後期待できる文化財の観光活用～グループで文化財の体験コンテンツを作ってみよう～」をテーマとしたグループワークを実施した。

イ 文化財ガイドの育成

令和8年3月18日、新居地域センターにおいて、文化財のガイド活動に関わる人を対象に、来訪者を引きつけ、文化財の魅力を伝えるための留意点や工夫について学ぶ研修会を開催した。参加者は29名で、湖西市観光ボランティア「新居宿史跡案内人の会」による新居関跡などのガイドを実施した後、NPO法人ホールアース自然学校の山崎宏氏及び津田和英氏による「その価値や意味を来訪者とともに紡ぐ～文化財ガイドの役割～」の講座と質疑応答を実施した。

ウ 建造物監理士

(ア) 実践力向上講習会（実測演習）

令和7年11月1日、2日に掛川市指定文化財旧山崎家住宅（掛川市南西郷）において開催。監理士4名、オブザーバーとして市町職員2名参加。一般財団法人京都伝統建築技術協会の濱野豪氏による文化財建造物における計画寸法の意義解説の後、その知識に基づいた建物内部測量を実習した。

(イ) 実践力向上講習会（現場講習）

令和7年11月29日に静岡県指定文化財窓泉山門保存修理現場（掛川市西大渕）において開催。監理士6名、市町職員2名が参加。石川薫氏ほか特定非営利活動法人静岡県伝統建築技術協会会員による修理現場での工程管理の手法等の解説と並行して、質疑応答・情報交換を実施した。

(ウ) 実践力向上講習会（修理報告書講読等）

令和7年12月13日に静岡労政会館（静岡市葵区黒金町）において開催。監理士16名、市町職員2名が参加。愛知工業大学名誉教授の杉野丞氏を迎え、禅宗寺院建築の構造について、座学講義を実施した。

第2部 埋蔵文化財の保護

1 事業概要

本県では、埋蔵文化財に関する調査及び研究、保存及び活用、知識の普及及び啓発等のため、清水区蒲原に静岡県埋蔵文化財センターを設置している。

埋蔵文化財センターでは、主要な業務である①国や県等が県内で施工する公共事業に伴う記録保存のための本発掘調査の実施と出土品の保存修復、②発掘調査成果や出土文化財を用いた普及公開事業と関連機関との連携、③発掘調査等によって得られた出土文化財の保管・管理について、関連事業を実施した。

年間の主な事業

月	発掘調査事業	普及公開事業
4月		19 土曜開館「バックヤードツアー」
5月	12 東原遺跡確認調査	17 土曜開館「火おこし体験」 22 第1回考古学技術体験
6月	中桁・中ノ坪遺跡現地調査（～3月）	1 出張展「里帰り展 長泉のお宝」 （コミュニティながいづみ文化財展示館 ～8月31日） 21 土曜開館「ペーパーナイフづくり体験」
7月	東田遺跡現地調査（～3月） 荒工遺跡、敷根石丁場遺跡、大門遺跡、曲金北遺跡、 川合遺跡資料整理（～3月）	17 第2回考古学技術体験 19 第1回埋文セミナー「元島遺跡をみつめなおす」 『考古通信』Vol.29 発行
8月	26 大屋敷遺跡確認調査	16 土曜開館「ミニミニはにわづくり体験」 23 古代体験まつり「フェスタ埋文2025」
9月	8 東駿河湾環状道路予定地試掘確認調査（～9/25） 16 別所平遺跡確認調査 22 寺ノ久保遺跡確認調査（～9/24） 26 川合遺跡確認調査 川合遺跡現地調査（～12月）	18 第2回埋文セミナー「富士石遺跡をみつめなおす」 20 土曜開館「まが玉づくり体験」
10月	7 眞香畑遺跡、向遺跡確認調査 9 高橋遺跡近接地試掘調査（～10/15） 17 東駿河湾環状道路予定地試掘確認調査（～10/24） 29 竹林寺廃寺、宮前遺跡確認調査	16 第3回考古学技術体験 18 遺跡調査報告会「しずおかの現像をさぐる」 （会場：葦山文化センター）
11月	12 東駿河湾環状道路予定地試掘確認調査（～11/14）	15 土曜開館「バックヤードツアー」
12月	19 平島遺跡確認調査 23 丸尾氏館跡確認調査（～12/25）	18 第4回考古学技術体験 20 第3回埋文セミナー「上志戸呂古窯をみつめなおす」
1月	21 南谷遺跡、豊受神社北遺跡、小泉遺跡確認調査（～2/5）	9 出張展「里帰り展 発掘された静岡」 （藤枝市郷土博物館・文学館 ～2月15日） 17 土曜開館「音楽と文化財の鑑賞会」 22 第5回考古学技術体験
2月		13 中央四県文化財交流拡大事業関連展示（静岡市歴史博物館～3/8） 21 土曜開館 21 中央四県文化財交流拡大事業シンポジウム「戦国お国自慢対決」（会場：静岡県労政会館）
3月	4 扇平B遺跡確認調査 6 東駿河湾環状道路予定地試掘確認調査（～3/13） 6 本坂後藤（角兵衛）屋敷遺跡確認調査 12 森林遺跡確認調査	21 土曜開館「バックヤードツアー」 『考古通信』Vol.30 発行

2 埋蔵文化財

(1) 静岡県及び市町の調査体制（令和7年4月1日時点）

地方公共団体	埋蔵文化財専門職員数			
	本庁		関係機関	
	正規	有期	正規	有期
静岡県	7		11	
静岡市	8	3		
浜松市	4			
沼津市	5	1		
熱海市	1			
三島市	1	2	1	
富士宮市	2			
伊東市	2	1		
島田市	2	2		
富士市	2		1	
磐田市	7	1		
焼津市			2	1
掛川市	3			
藤枝市	1			
御殿場市	1			
袋井市	6	1		
下田市				
裾野市				

地方公共団体	埋蔵文化財専門職員数			
	本庁		関係機関	
	正規	有期	正規	有期
湖西市	1	1		
伊豆市	1			
御前崎市	1			
菊川市	1			
伊豆の国市	3			
牧之原市	1			
東伊豆町				
河津町				
南伊豆町				
松崎町				
西伊豆町	1			
函南町	1			
清水町	1			
長泉町	1	1		
小山町	1			
吉田町				
川根本町				
森町				
合計	65	13	15	1

埋蔵文化財専門職員数

地方公共団体	埋蔵文化財専門職員数			
	本庁		関係機関	
	正規	嘱託	正規	嘱託
県	7	0	11	0
市町	58	13	4	1
合計	65	13	15	1

(2) 遺跡周知事業の実施

遺跡の周知徹底を図るため、平成 23 年度から、県統合基盤地理情報システムのインターネット公開を開始している。また、周知の埋蔵文化財包蔵地に関する情報を確認し、適宜訂正した。

ア 新規登録

該当なし

イ 内容変更（範囲変更）

No.	遺跡の名称	所在地	No.	遺跡の名称	所在地
1	曲金A遺跡	静岡市駿河区小鹿	13	栗林遺跡	菊川市西方字栗林
2	天の川遺跡	牧之原市大沢	14	島遺跡	菊川市本所字島
3	吉影八幡神社遺跡	浜松市浜名区都田町吉影	15	加茂神社遺跡	菊川市加茂字小川端東門
4	中桁・中ノ坪遺跡	富士市伝法字中桁	16	月岡Ⅱ遺跡	菊川市月岡字源八山
5	城西遺跡	三島市中	17	長池橋遺跡	菊川市加茂字長池
6	手乱遺跡	三島市中（手無向）	18	西袋遺跡	菊川市加茂字西袋
7	伊勢堰遺跡	三島市梅名	19	佐野片平山Ⅰ遺跡	三島市佐野見晴台1丁目 （旧佐野片平山）
8	道尾遺跡	沼津市中沢田字中沢	20	梅田B古墳群	湖西市梅田メウタイ 43-1
9	佐野片平山K遺跡	三島市佐野見晴台1丁目 （旧佐野片平山）	21	上松沢平遺跡	沼津市岡宮字上松沢
10	佐野片平山T遺跡	三島市佐野見晴台1丁目 （旧佐野片平山）	22	天王町村東遺跡	浜松市中央区天王町
11	陣笠山A遺跡	三島市佐野見晴台1丁目 （旧佐野片平山）	23	大泉寺畑遺跡	沼津市岡宮字大泉寺畑
12	前田坪遺跡	菊川市本所字前田	24	天神原遺跡	三島市三島天神原

ウ 内容変更（滅失）

No.	遺跡の名称	所在地	No.	遺跡の名称	所在地
1	佐野片平山F遺跡	三島市佐野見晴台2丁目 (旧佐野片平山)	6	佐野片平山S遺跡	三島市佐野見晴台1丁目 (旧佐野片平山)
2	コスゲC遺跡	三島市佐野見晴台2丁目 (旧佐野片平山)	7	沢地向山遺跡	三島市光ヶ丘
3	佐野片平山H遺跡	三島市佐野見晴台1丁目 (旧佐野片平山)	8	徳倉谷津A遺跡	三島市川原ヶ谷徳倉谷津
4	陣笠山H遺跡	三島市佐野見晴台1丁目 (旧佐野片平山)	9	君ヶ沢遺跡	三島市川原ヶ谷徳倉谷津
5	佐野片平山G遺跡	三島市佐野見晴台2丁目 (旧佐野片平山)	10	芝荒古墳	沼津市宮本字元野 18-23

(3) 埋蔵文化財に係る届出等の周知

文化財の適切な保護を図るため、県・市町等の土木事業担当職員を対象とした交通基盤部の研修会等で、埋蔵文化財に係る法手続き、取扱いを説明した。

(4) 静岡県実施の試掘・確認調査

開発事業者と関係市町、静岡県埋蔵文化財センターとの間で、適切な発掘調査の実施や調査費用算定の資料を得るために、埋蔵文化財包蔵地内外で試掘・確認調査を実施し、国道整備事業などの大規模開発事業に伴う埋蔵文化財発掘調査の適正かつ円滑な実施に努めた。

実施場所

No.	遺跡名	事業名	調査期間
1	南原遺跡	(主) 吉田大東線道路改築工事	令和7年5月12日(月)
2	大屋敷遺跡	清水警察署(仮称)袖師交番新築工事	令和7年8月26日(火)
3	周知外 (東駿河湾環状道路 No. 12、13 地点)	東駿河湾環状道路建設事業	令和7年9月8日(月) ~25日(木)
4	別所平遺跡	松野茶園改良事業	令和7年9月16日(火)
5	寺ノ久保遺跡	県営経営体育成樹園地再編整備事業 (機構関連型)東豊田国吉田地区	令和7年9月22日(月)、 24日(水)
6	川合遺跡	静岡県立静岡東高等学校老朽化対策事業	令和7年9月26日(金)
7	向遺跡・眞香烟遺跡	基盤整備事業(園内道)	令和7年10月7日(火)

No.	遺跡名	事業名	調査期間
8	周知外 (高橋遺跡隣接地)	掛川浜岡線道路改築工事	令和7年10月9日(木) ~15日(水)
9	周知外 (東駿河湾環状道路 No. 9 地点)	東駿河湾環状道路建設事業	令和7年10月17日(金) ~24日(金)
10	竹林寺廃寺・宮前遺跡	農地中間管理機構関連農地整備事業 (南原)	令和7年10月29日(水)
11	東大平遺跡 (東駿河湾環状道路 No. 7 地点)	東駿河湾環状道路建設事業	令和7年11月12日(水) ~14日(金)
12	平島遺跡及び隣接地	志太中央幹線街路整備	令和7年12月19日(金)
13	丸尾氏館跡及び隣接地	(都) 田端宝野線街路整備事業	令和7年12月23日(火)、 25日(木)
14	南谷遺跡ほか (基盤整備朝比奈地区)	県営経営体育成基盤整備 (朝比奈地区)	令和8年1月21日(水) ~2月5日(木)
15	扇平B遺跡	畑地帯総合整備(担い手育成) 小沢地区畑地かんがい施設工事等	令和8年3月4日(水)
16	本坂後藤(角兵衛)屋敷遺跡	農業競争力強化基盤整備事業	令和8年3月6日(金)
17	周知外(東駿河湾環状道路 No. 12、13 地点)	東駿河湾環状道路建設事業	令和8年3月6日(金) ~13日(金)
18	森林遺跡	国道469号道路改築事業	令和8年3月12日(木)

結果概要

1 南原遺跡

調査原因 (主) 吉田大東線道路改築工事

調査期間 令和7年5月12日(月)

調査場所 島田市船木地内

調査面積 36.0 m²

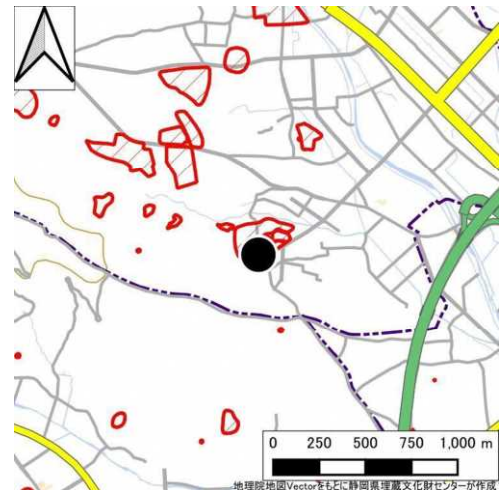
担当者 武田 寛生

遺跡の概要 東名高速道路吉田ICから西へ約1.4kmの丘陵緩斜面地に位置している。平成7年度に確認調査が実施され、縄文～弥生時代の土器などが出土している。

調査の結果

主な遺構 なし 主な遺物 なし

概要 比較的深部まで茶畑に係る土地造成が及んでいた。地山面において遺構は検出されず、遺物も出土していない。遺構・遺物が残存しない範囲と判断できる。



位置図 1/50,000

2 大屋敷遺跡

調査原因 清水警察署(仮称)袖師交番新築工事

調査期間 令和7年8月26日(火)

調査場所 静岡市清水区袖師地内

調査面積 8.0 m²

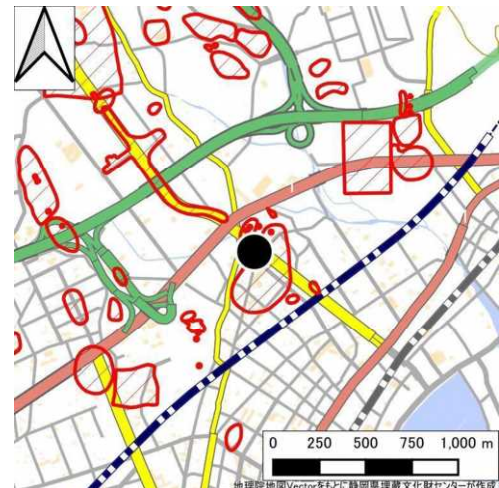
担当者 中川 律子

遺跡の概要 静岡平野の東端にある庵原川の右岸側で、神明山古墳群の南に位置する。周囲は道路整備や宅地化が進み、地形の改変を受けている。

調査の結果

主な遺構 なし 主な遺物 土器(須恵器甕・土師器坏)

概要 2箇所の試掘坑からは遺構は検出されず、奈良時代末の須恵器甕の破片が出土した。遺跡の範囲としては希薄と判断できる。



位置図 1/50,000

3 周知外(東駿河湾環状道路No.12、13地点)

調査原因 東駿河湾環状道路建設事業

調査期間 令和7年9月8日(月)～25日(木)

調査場所 沼津市東椎路地内

調査面積 265.1 m²

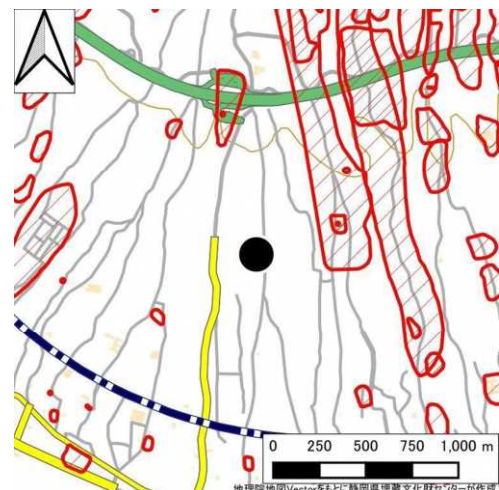
担当者 溝口 彰啓・鈴木 伸太郎

遺跡の概要 愛鷹山南麓、開析谷に挟まれた標高60～70mの尾根上に位置する。周囲は茶畑として造成され、緩斜面状を呈している。

調査の結果

主な遺構 なし 主な遺物 なし

概要 縄文時代以降の土層の一部、旧石器時代の土層の多くは残っていたが、遺構・遺物は発見されなかった。調査対象範囲は遺跡に該当しないと考えられる。



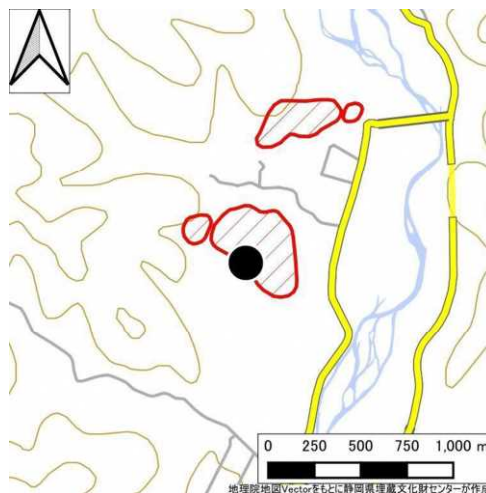
位置図 1/50,000

4 別所平遺跡

調査原因 松野茶園改良事業
調査期間 令和7年9月16日(火)
調査場所 静岡市葵区松野地内
調査面積 10.0㎡
担当者 中川 律子
遺跡の概要 別所平遺跡は安倍川上流域の段丘面上に位置する。戦前に遺物が表採された記録があるが、令和5年度に実施した確認調査では遺構・遺物は確認されていない。

調査の結果

主な遺構 なし **主な遺物** なし
概要 4箇所の特レンチを設定し、掘削を行ったが、遺構・遺物は発見されなかった。遺跡の範囲としては希薄と判断できる。



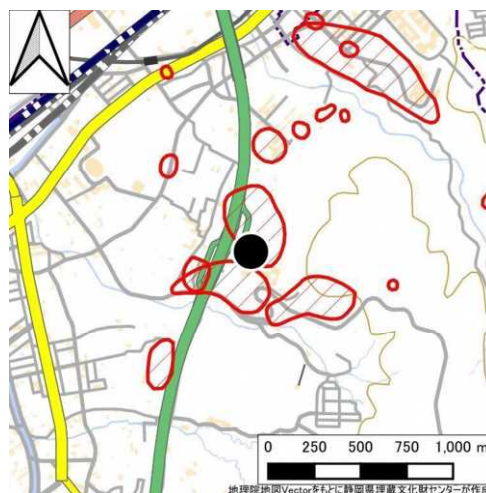
位置図 1/50,000

5 寺ノ久保遺跡

調査原因 県営経営体育成樹園地再編整備事業(機構関連型)東豊田国吉田地区
調査期間 令和7年9月22日(月)・24日(水)
調査場所 静岡市駿河区国吉田地内
調査面積 51.0㎡
担当者 中川 律子
遺跡の概要 有度丘陵北麓、標高62~63mの緩斜面に位置する。周囲は茶畑として造成され、一部は畑地利用されている。昭和59年に静岡市が試掘・確認調査を行っている。

調査の結果

主な遺構 柱穴、土坑 **主な遺物** 土器
概要 7箇所設定した特レンチの内、北側3箇所遺構・遺物が検出された。事業地内に遺跡が残されていることが明らかになった。



位置図 1/50,000

6 川合遺跡

調査原因 静岡県立静岡東高等学校老朽化対策事業
調査期間 令和7年9月26日(金)
調査場所 静岡市葵区川合3丁目地内
調査面積 9.0㎡
担当者 鈴木 伸太郎
遺跡の概要 静岡平野の北東部、長尾川と巴川に挟まれた沖積地に位置する。奈良・平安時代の官衙跡や祭祀跡を中心に弥生時代~近世の遺構・遺物が発見されている。

調査の結果

主な遺構 なし **主な遺物** 礫
概要 校舎解体跡地で遺構・遺物包含層の残存状況を確認した。結果、旧校舎建築時の基礎掘削により、奈良時代までの遺構・遺物が消滅していることが判明した。



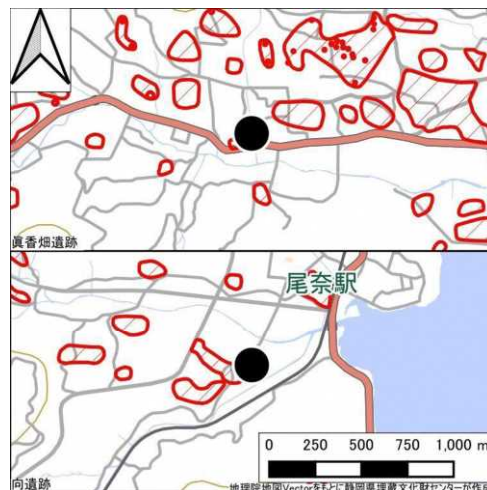
位置図 1/50,000

7 向遺跡・眞香畑遺跡

調査原因 基盤整備事業（園内道）
調査期間 令和7年10月7日（火）
調査場所 浜松市浜名区三ヶ日町日比沢地内、下尾奈地内
調査面積 9.0㎡
担当者 武田 寛生
遺跡の概要 向遺跡は天竜浜名湖鉄道尾奈駅から約600m南西の丘陵上に位置し、眞香畑遺跡は、天竜浜名湖鉄道三ヶ日駅から西へ2.2kmの華蔵寺境内及び周辺に位置する。

調査の結果

主な遺構 なし **主な遺物** なし
概要 両遺跡で遺構・遺物は発見されなかった。眞香畑遺跡は埋没した谷地形にあたり、向遺跡は畑の造成により遺跡が残存しない範囲にあたるということが判明した。



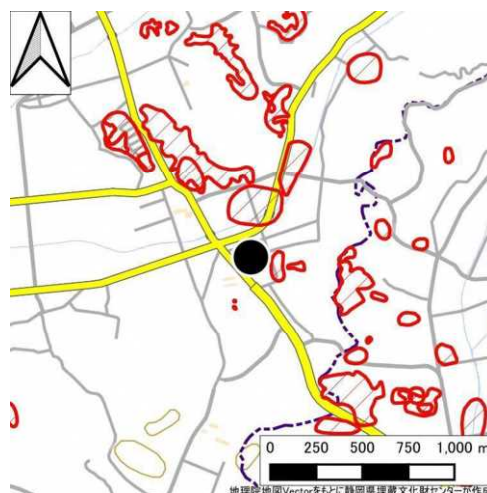
位置図 1/50,000

8 周知外（高橋遺跡隣接地）

調査原因 掛川浜岡線道路改築工事
調査期間 令和7年10月9日（木）～15日（水）
調査場所 菊川市高橋地内
調査面積 32.0㎡
担当者 武田 寛生
遺跡の概要 小笠高橋川南側の水田に位置し、隣接する高橋遺跡では、微高地上に弥生時代～中世の掘立柱建物や流路等の遺構や土器・木製品等の遺物が出土している。

調査の結果

主な遺構 なし **主な遺物** なし
概要 計8箇所の試掘坑を設定し、高橋遺跡の発掘調査で遺構が検出されている土層まで掘削したが、いずれも遺構・遺物は確認されなかった。



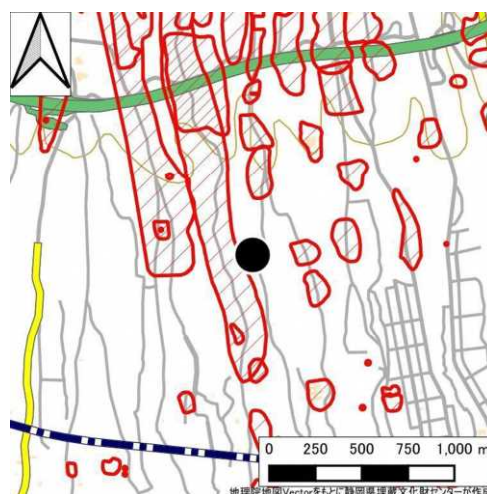
位置図 1/50,000

9 周知外（東駿河湾環状道路No.9地点）

調査原因 東駿河湾環状道路建設事業
調査期間 令和7年10月17日（金）～24日（金）
調査場所 沼津市中沢地内
調査面積 44.0㎡
担当者 武田 寛生
遺跡の概要 沢田配水池の西側の丘陵上平坦地に位置する。調査前はビニールハウスが建設されており、これまで発掘調査は実施されていない。

調査の結果

主な遺構 なし **主な遺物** なし
概要 計11箇所の試掘坑を掘削した。中央部では深い谷が埋め立てられ、西側、東側では尾根が大きく削平されていた。遺構・遺物は確認されなかった。



位置図 1/50,000

10 竹林寺廃寺・宮前遺跡

調査原因 農地中間管理機構関連農地整備事業（南原）

調査期間 令和7年10月29日（水）

調査場所 島田市船木地内

調査面積 9.0㎡

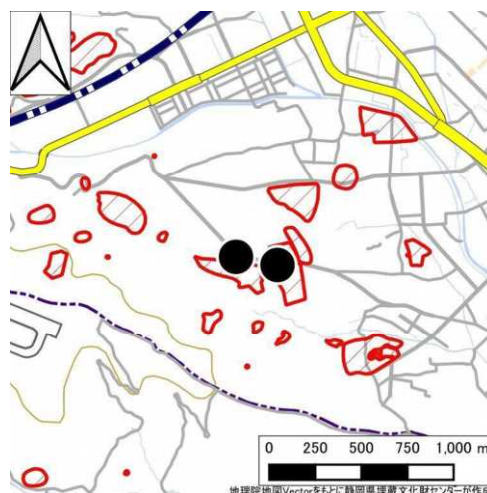
担当者 武田 寛生

遺跡の概要 当該地では、昭和50年代の茶畑の改植に伴う調査で、伽藍を有する奈良時代の寺院跡が確認されている。

調査の結果

主な遺構 なし 主な遺物 縄文土器、石器

概要 竹林寺廃寺跡のトレンチでは、竪穴建物等の埋土の可能性がある土層から縄文土器と石器が出土した。宮前遺跡のトレンチは遺構・遺物とも確認されなかった。



位置図 1/50,000

11 東大平遺跡（東駿河湾環状道路No.7地点）

調査原因 東駿河湾環状道路建設事業

調査期間 令和7年11月12日（水）～14日（金）

調査場所 沼津市東沢田地内

調査面積 20.0㎡

担当者 武田 寛生

遺跡の概要 東大平遺跡は弥生～古墳時代の遺跡。今回の調査地の北西側では、本発掘調査により富士黒土（FB）層上面で土坑や溝等の遺構が確認されている。

調査の結果

主な遺構 なし 主な遺物 なし

概要 西側ではFB層が残存していたが、東側では休場（YL）層の上層まで削平されており、重機の掘削痕が多数確認された。遺構・遺物は発見されなかった。



位置図 1/50,000

12 平島遺跡及び隣接地

調査原因 志太中央幹線街路整備

調査期間 令和7年12月19日（金）

調査場所 藤枝市郡地内

調査面積 10.0㎡

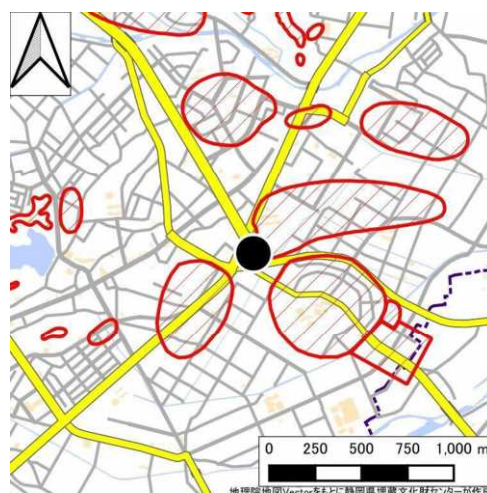
担当者 武田 寛生

遺跡の概要 藤枝北高校から南へ約70mの独立丘陵裾の平坦地に位置する。弥生～平安時代の集落跡である平島遺跡の南端及び隣接地にあたる。

調査の結果

主な遺構 なし 主な遺物 須恵器

概要 西側試掘坑で、造成以前の表土（推定）から須恵器が出土した。西側の丘陵及び裾部に展開する遺跡から、遺物が流入した可能性がある。



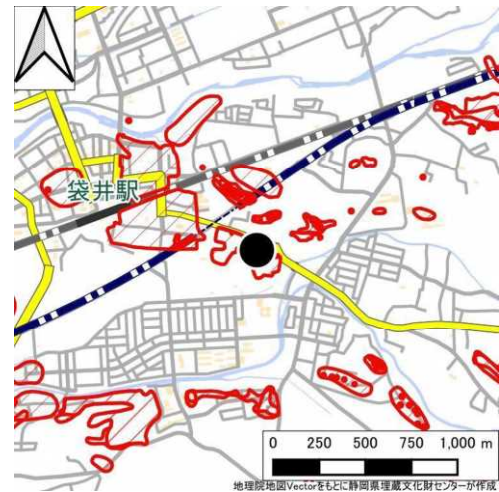
位置図 1/50,000

13 丸尾氏館跡及び隣接地

調査原因 (都) 田端宝野線街路整備事業
調査期間 令和7年12月23日(火)、25日(木)
調査場所 袋井市高尾地内
調査面積 70.0㎡
担当者 武田 寛生
遺跡の概要 小笠山丘陵の南西側、河岸段丘上に位置し、中世の館跡に比定される。遺跡の西側、同じ段丘面上には、弥生時代～近世の複合遺跡である大門遺跡が広がる。

調査の結果

主な遺構 なし **主な遺物** なし
概要 2本のトレンチを掘削した。今回の調査では、大規模な土地改変を受けており、遺構・遺物が展開しない範囲であることが判明した。



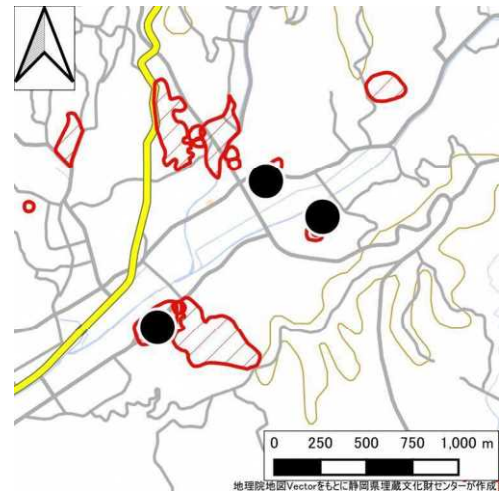
位置図 1/50,000

14 南谷遺跡ほか（基盤整備朝比奈地区）

調査原因 県営経営体育成基盤整備（朝比奈地区）
調査期間 令和8年1月21日(水)～2月5日(木)
調査場所 御前崎市上朝比奈、下朝比奈地内
調査面積 72.0㎡
担当者 武田 寛生
遺跡の概要 朝比奈川周辺の丘陵裾の緩斜面地に位置する。南谷遺跡では、平成9年度に本調査が実施され、弥生～古墳時代の豊富な木製品が出土している。

調査の結果

主な遺構 遺物包含層
主な遺物 弥生土器、須恵器、土師器、灰釉陶器、山茶碗
概要 南谷遺跡、豊受神社北遺跡では、遺物包含層が検出され、弥生時代や古墳時代、古代～中世の土器が出土した。小泉遺跡では遺跡想定面まで掘削が達しなかった。



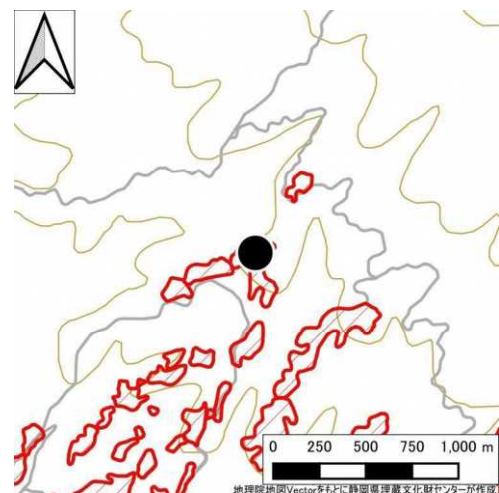
位置図 1/50,000

15 扇平B遺跡

調査原因 畑地帯総合整備（担い手育成）小沢地区畑地かんがい施設工事等
調査期間 令和8年3月4日(水)
調査場所 三島市五輪地内
調査面積 1.0㎡
担当者 中川 律子
遺跡の概要 箱根外輪山の南西麓に位置する。過去に遺物が表採された記録があるが、発掘調査事例はない。

調査の結果

主な遺構 なし **主な遺物** なし
概要 試掘坑を1箇所設定し、掘削を行った。遺構は検出されず、遺物も出土しなかった。



位置図 1/50,000

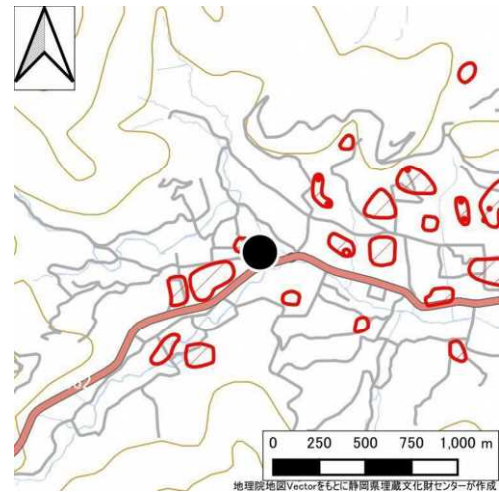
16 本坂後藤（角兵衛）屋敷遺跡

調査原因 農業競争力強化基盤整備事業
調査期間 令和8年3月6日（金）
調査場所 浜松市浜名区三ヶ日町本坂地内
調査面積 3.0㎡
担当者 武田 寛生

遺跡の概要 本坂一里塚の北東に隣接する、丘陵上の緩斜面地に位置する。屋敷跡の伝承があるが、これまで発掘調査は実施されていない。

調査の結果

主な遺構 なし **主な遺物** なし
概要 いずれの試掘坑においても、耕作土及び造成土の直下で地山が検出された。畑地の開墾等により、遺構・遺物が残存しない範囲であると判断できる。



位置図 1/50,000

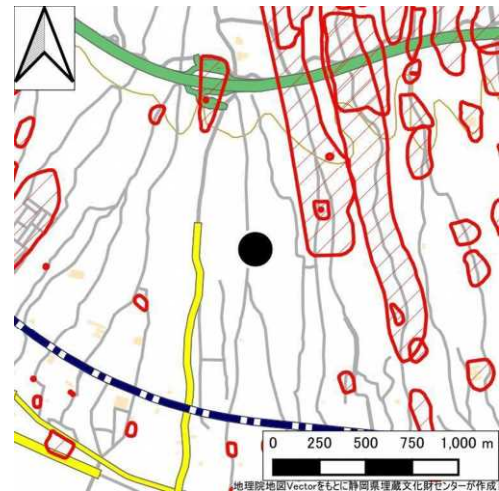
17 周知外（東駿河湾環状道路 No. 12、13 地点）

調査原因 東駿河湾環状道路建設事業
調査期間 令和8年3月6日（金）～13日（金）
調査場所 沼津市東椎路地内
調査面積 101.0㎡
担当者 溝口 彰啓・鈴木 伸太郎

遺跡の概要 愛鷹山南麓、開析谷に挟まれた標高60～70mの尾根上に位置する。周囲は茶畑として造成され、緩斜面状を呈している。9月調査地の中間地にあたる。

調査の結果

主な遺構 なし **主な遺物** 礫
概要 中央で谷の痕跡を確認、茶畑造成時に尾根部が谷部と同程度まで削平されたことが判明した。Y L層で礫が1点出土したが、遺跡の広がりには確認できなかった。



位置図 1/50,000

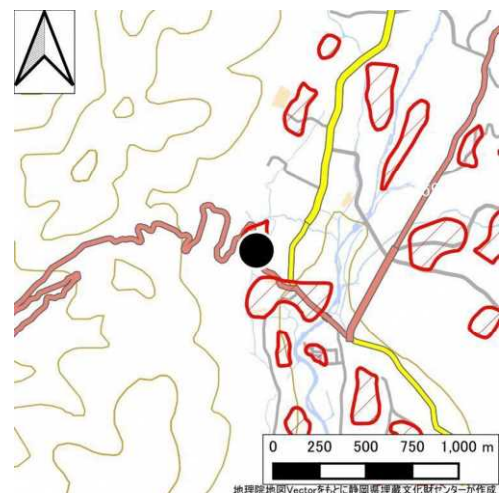
18 森林遺跡

調査原因 国道469号道路改築事業
調査期間 令和8年3月12日（木）
調査場所 富士宮市上柚野地内
調査面積 6.0㎡
担当者 鈴木 伸太郎

遺跡の概要 芝川の右岸側、天子山地山麓の緩斜面上に位置する。過去に縄文土器が表採された記録はあるものの、発掘調査歴はない。

調査の結果

主な遺構 なし **主な遺物** なし
概要 事業地内に設定した2箇所の試掘坑のうち、一方では表土直下で地山を確認し、もう一方では盛土の下で地山を確認した。遺構・遺物は確認されなかった。



位置図 1/50,000

3 埋蔵文化財の保存

(1) 記録保存調査及び保存処理業務の実施

令和7年度に実施した記録保存調査は表のとおり、現地調査3件、資料整理（整理作業）5件、保存処理事業4件である。また3冊の報告書を刊行した。

記録保存調査及び保存処理業務の概要

No.	事業名等	遺跡名等	調査期間	調査面積等	調査依頼者
1	河津下田道路建設	敷根石丁場遺跡	令和7年7月～令和8年3月	整理作業	国土交通省 沼津河川国道事務所
2	東駿河湾環状道路建設	荒工遺跡	令和7年7月～令和8年3月	整理作業	国土交通省 沼津河川国道事務所
3	ふじさん工業用水道事業新ポンプ場整備	中桁・中ノ坪遺跡	令和7年6月～令和8年3月	4,053 m ²	企業局東部事務所
4	(都) 田中青木線街路整備事業	東田遺跡	令和7年7月～令和8年3月	668 m ²	富士土木事務所
5	県立静岡東高校老朽化対策事業	川合遺跡	令和7年8月～令和8年3月 令和7年7月～令和8年3月	322 m ² 整理作業	教育委員会 教育施設課
6	新県立中央図書館整備事業	曲金北遺跡	令和7年7月～令和8年3月	整理作業	教育委員会 新図書館整備課
7	(都) 田端宝野線街路整備事業	大門遺跡・ 大門Ⅲ遺跡	令和7年7月～令和8年3月	整理作業	袋井土木事務所
8	重要文化財登呂遺跡出土品保存 処理業務	特別史跡 登呂遺跡	令和7年5月～令和8年3月	保存処理	静岡市
9	県内市町保存処理業務	駿府城三ノ丸 (市民文化会館地 点)	令和7年5月～令和8年3月	保存処理	静岡市
10	県内市町保存処理業務	千人塚古墳	令和7年8月～令和8年3月	保存処理	富士市
11	県内市町保存処理業務	平石4号墳	令和7年7月～令和8年3月	保存処理	伊豆の国市

(2) 記録保存調査の概要

令和7年度に実施した記録保存調査について、遺跡ごとに調査及び成果の概要を報告する。刊行した発掘調査報告書については、後述する。

1 ^{しきねいしちようば}敷根石丁場遺跡

所在地 下田市敷根

調査原因 河津下田道路建設事業

調査期間 令和7年7月～令和8年3月

担当者 溝口 彰啓

遺跡の概要 伊豆半島の南端、静岡県下田市の南部にある通称敷根山丘陵に所在する。下田を含む南伊豆地域は白浜層群等の凝灰岩が広く分布し、その範囲には「伊豆石（軟石）」を切り出した石丁場が多数確認されている。



8地点8-1区採石場完掘状況

調査の成果 本年度は令和5～6年度に実施し

た現地調査成果の資料整理を行い、発掘調査報告書を刊行した。南伊豆地域では近世から近代にかけて石切職人らが石材を切り出した凝灰岩の採石跡が多数残されており、本遺跡でも10箇所の採石場を確認した。採石場では露天掘り、平場掘りを主体として採石され、一部でトンネル状の横坑掘りが行われていた。丘陵上の露頭した岩盤から露天掘りによって採石を開始し、その後石質が良く岩盤が厚い場合は平場掘りによって深くまで採石を行い、条件がよい場所では横坑掘りによってさらに岩盤深くまで掘り進められた状況が判明した。今回の調査により、近代を最盛期とした伊豆地域の石材産業に係る遺跡の一端を明らかにすることができた。

2 ^{あらく}荒工遺跡

所在地 沼津市中沢田

調査原因 東駿河湾環状道路建設事業

調査期間 令和7年7月～令和8年3月

担当者 木崎 道昭

遺跡の概要 愛鷹山南麓の丘陵部に位置する、縄文、弥生時代の集落遺跡。縄文時代早期末葉の打越式土器が大量に出土した。弥生時代後期の竪穴建物跡も検出されており、丘陵上部から続く弥生時代集落群の南側末端部である可能性が高い。



荒工遺跡出土の打越式土器

調査の成果 本年度は昨年度に続き資料整理作業と報告書作成作業を行い、報告書を刊行した。遺物の整理作業として仕分け・注記・接合・拓本・実測・図版作成・写真撮影を行い、遺物の整理作業を完了した。記録類の整理を完了させ、遺物と記録類を合わせて版組を行った。それと並行して、報告書執筆と編集作業を行い、印刷製本及び発送業務を委託した。この後、校正作業を行い、報告書を刊行・発送した。これにより、今回の荒工遺跡に関する全ての作業（現地調査含む）を完了した。

3 ^{なかげた なかのつぼ} 中桁・中ノ坪遺跡

所在地 富士市伝法字清水

調査原因 工業用水道事業新ポンプ場建設

調査期間 令和7年6月～令和8年3月

調査面積 4,053 m²

担当者 富樫 孝志

位置・立地 富士市内を北西～南東に向かって流れる潤井川の流域にある。周辺には、古墳時代～平安時代に集落が栄えた沢東A遺跡、沢東B遺跡、川窪遺跡、東平遺跡が分布している。

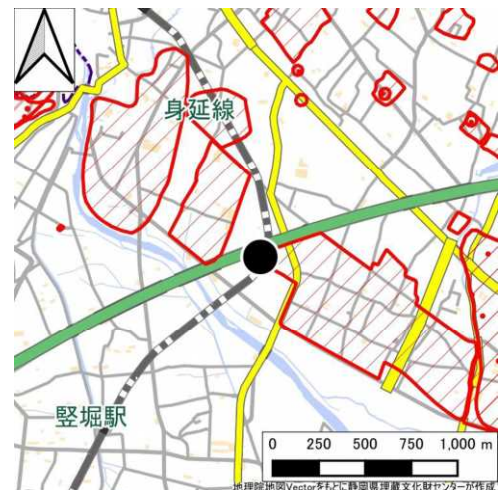
主な遺構 竪穴建物跡、土坑

主な遺物 土師器

調査の成果 中桁・中ノ坪遺跡は、5世紀から10世紀まで続いた集落跡で、これまでに富士市、県が26箇所で発掘調査を実施してきた。今回は27箇所目の発掘調査である。県企業局が計画した新ポンプ場建設予定地内で、令和6年度に試掘調査を実施したところ、平安時代の遺物と竪穴建物跡と思われる遺構を確認したため、令和7年度に本発掘調査を実施した。発掘調査では約60基の竪穴建物跡を検出した。建物跡の平面形は一辺2.5m～6mの隅丸方形で、深さは50cmに及ぶものがあった。柱穴を検出できたものは1基だけであった。ほとんどの建物跡にかまど跡があったことから、住居として使用されたと思われる。かまどを作っていた灰白色の粘土は建物跡の床面に流れ出し、かまどの原形をうかがえるものは少なかった。

竪穴建物跡が建てられた時期は、出土遺物から考えて1基が7世紀後半、他はすべて9世紀と考えられる。遺物は、竪穴建物跡のかまど内とその周辺から土師器の甕と坏が出土したが、全体的に遺物の量は少なかった。

発掘調査した場所は、周辺に比べて標高が低く、自然流路跡や洪水堆積物が認められたことから、低湿地に近い環境だったと思われる。それでも、周辺の遺跡で見えられた集落と同様の集落が、この地にも展開していたことがわかる。



位置図 1/50,000



かまどのある竪穴建物跡



土師器が出土した土坑

4 ^{ひがしだ}東田遺跡

所在地 富士宮市貴船町地内

調査原因 (都) 田中青木線街路整備事業

調査期間 令和7年7月～令和8年3月

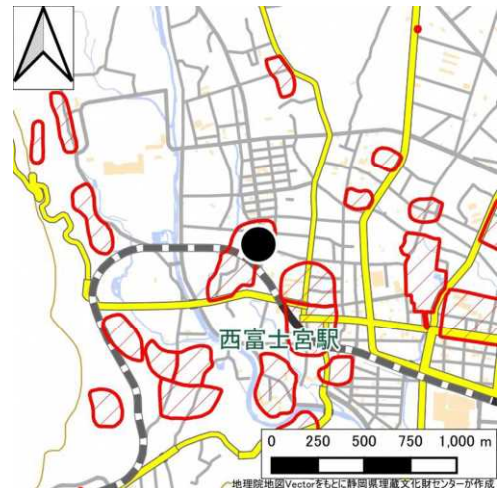
調査面積 668 m²

担当者 岩崎 しのぶ

位置・立地 JR身延線西富士宮駅から西に約500m離れた地点に位置し、潤井川左岸に広がる沖積地内の微高地上に立地する。

主な遺構 竪穴建物跡 溝 土坑

主な遺物 土器(土師器 須恵器 灰釉陶器 緑釉陶器)
金属製品



位置図 1/50,000

調査の成果 事業対象地は、富士宮市貴船町から同中里東町にかけての南北338mをはかる道路新設用地である。昨年度から発掘調査に着手し、2年次となる今年度は、貴船町12番地南半部の発掘調査を実施した。

東田遺跡は平成20年度に富士宮市教育委員会が実施した発掘調査で、古墳時代前期と後期の集落跡であることが明らかにされている。昨年度の調査では古墳時代後期と平安時代前半の竪穴建物跡が11基検出され、今年度は奈良時代と平安時代前半の竪穴建物跡が21基検出された。このうち18基の建物跡でかまどが確認された。かまどはいずれも破壊されており、破壊の際に燃焼部に土器を廃棄したのも確認できる。竪穴建物跡に伴って、奈良時代の土師器と須恵器、平安時代前半の土師器、灰釉陶器、緑釉陶器が出土した。今回の調査で、当該事業対象地内で検出された竪穴建物跡は32基となり、東田遺跡の集落は古墳時代前期から平安時代前半まで継続的に営まれていたことが明らかにされた。調査区南側で、最大幅、最大深ともに約1mをはかる溝1条が検出された。溝内から多量の古墳時代前期の土器が出土した。溝の形状と、出土土器の中に焼成後に胴部を穿孔した壺が含まれることから、方形周溝墓の溝である可能性が考えられる。



竪穴建物跡 SH21 検出状況



溝内土器出土状況

5 ^{かわい}川合遺跡

所在地 静岡市葵区川合三丁目地内

調査原因 静岡県立静岡東高等学校老朽化対策事業

調査期間 令和7年8月～令和8年3月

調査面積 322 m²

担当者 鈴木 伸太郎

位置・立地 静岡平野の北東部、長尾川と巴川に挟まれた沖積地に位置する。過去にはバイパス建設や、団地改築、体育館建設などに伴う発掘調査が実施され、奈良・平安時代の官衙跡や祭祀跡などが発見されており、静岡平野北部の重要遺跡として知られている。



位置図 1/50,000

主な遺構 土坑、溝、流路、杭列

主な遺物 灰釉陶器、土師器、瓦片、木製品、動物骨

調査の成果 今回の調査では、江戸時代1面、奈良・平安時代2面の計3面の遺構面を調査した。

第1面（江戸時代）では、礫詰土坑（河川氾濫時に散らばった土砂を集めて埋めたとされる土坑）を多数確認した。

第2・3面（奈良・平安時代）のうち、第2面は遺構が希薄だった。第3面では流路を2条検出した。西側の流路では、北岸に杭列が確認され、流路内から土器が多数出土したほか、木製品、瓦片、さらには歯の残る下顎骨を中心としたウマの骨も発見された。完形に近い土器も多く、これらは緩やかな流れの中に投げ込まれたと考えられる。東側の流路でも土器が多数出土しているが、小破片が多く、また埋土中に石が多数含まれ、河川氾濫など激しい流れの跡と考えられる。上流側に集落があり、そこから土器が流されてきた可能性もある。他には両流路の間に土地の区画用と考えられる縦横に走る溝が検出された。建物跡は確認されず、居住域の辺縁部、あるいは外れたエリアと考えられる。

静岡東高校の老朽化対策事業に伴う埋蔵文化財発掘調査のうち、現地調査は今年度をもって完了した。今後は、令和5年度に実施した現地調査の成果と合わせて資料調査を進める。なお、今年度は現地調査と並行して令和5年度出土木製品の保存処理後半工程を実施し、処理が完了した。



第3面全景（東から）



第3面西側流路杭検出・遺物出土状況（北から）

6 ^{まがりかねきた} 曲金北遺跡

所在地 静岡市駿河区東静岡二丁目外

調査原因 新県立中央図書館整備事業

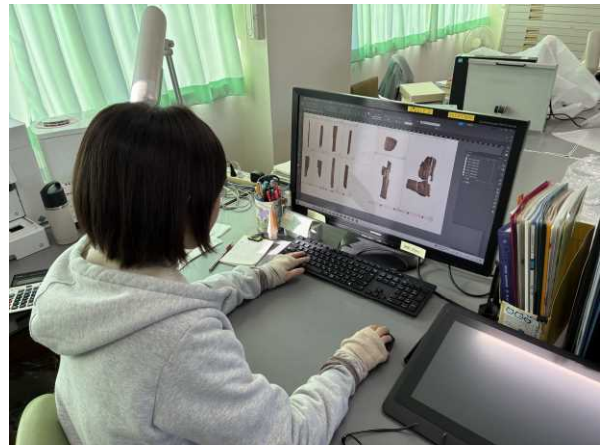
調査期間 令和7年7月～令和8年3月

担当者 中川 律子

遺跡の概要 曲金北遺跡は、J R 東静岡駅の南に存在し、安倍川扇状地の東側に広がる沖積平野に位置する。周辺は、長沼遺跡、曲金A遺跡、曲金B遺跡、曲金C遺跡があり、弥生時代後期から奈良・平安時代の水田跡が展開している。

調査の成果 令和5年度の発掘調査の結果、奈

良・平安時代から弥生時代後期まで遡る水田が一带に広がっていることが明らかとなった。本年度の資料整理では、記録類の図面編集、版組（図・写真）、トレースのほか、出土品の版組（写真）、木製品の保存処理（後半処理）作業を行った。また過去の12次調査で撮影した景観俯瞰写真に今回の調査区俯瞰写真を合成する業務委託を実施し、その成果を発掘調査報告書に反映した。昨年度から作成した記録類と出土品の図版や写真、調査の事実記載等をまとめ、これらを編集し、年度末に『曲金北遺跡Ⅲ』として発掘調査報告書を刊行した。



出土品版組（写真）作業

7 ^{だいもん} 大門遺跡・^{だいもん} 大門Ⅲ遺跡

所在地 袋井市高尾地内

調査原因 （都）田端宝野線街路整備事業

調査期間 令和7年10月～令和8年3月

担当者 武田 寛生

遺跡の概要 大門遺跡及び大門Ⅲ遺跡は、J R 東海道線袋井駅の南東に位置し、小笠山丘陵先端の丘陵上及び南側斜面に立地する。

令和4～6年度に本発掘調査を実施している。弥生時代の方形周溝墓や、古代～近世の掘立柱建物跡、溝跡、河川跡等が検出され、土器を中心に各時代の遺物が出土している。

調査の成果 令和7年度は、出土品及び記録類の整理作業を実施した。出土品については、大門遺跡（9区・10区）と大門Ⅲ遺跡を中心に、接合・復原・実測・版組・トレース・観察表作成・遺物写真撮影を行った。記録類については、大型の遺構を中心に、図面編集・版組・トレースを行った。また、出土した炭化物及び木材について、自然科学分析（放射性炭素年代測定）を実施した。令和8年度以降は、未調査範囲の発掘調査と整理作業を実施する予定である。



出土品整理作業

(3) 保存処理業務

令和7年度は、木製（有機質）品及び金属製品の保存処理を実施した。

ア 木製（有機質）品の保存処理

木製（有機質）品の保存処理では、県事業に伴うものとして曲金北遺跡（静岡市）、川合遺跡（静岡市）出土品の保存処理を実施し、市町からの受託事業として静岡市（重要文化財登呂遺跡出土品、駿府城三ノ丸 市民文化会館地点出土品）からの保存処理事業を実施した。

木製品の保存処理では、駿府城三ノ丸の出土品は小型で薄いためポリエチレングリコール（PEG）を含浸してから真空凍結乾燥処理で形状を安定させた。また、登呂遺跡出土品のように乾燥してしまっている木製品にはアクリル樹脂の減圧含浸を行った。安定化処理後は、折損した木製品をすべて接合し、欠損部を補填材で充填・整形し、アクリル絵具で彩色した。

登呂遺跡出土品では強度が不足しているものがあり、それらを安全に維持するために合成樹脂製の台座を3点作製した。駿府城三ノ丸の出土品は墨書が認められるため、全点赤外線写真を撮影した。

イ 金属製品の保存処理

金属製品の保存処理では、県事業に伴うものとして敷根石丁場遺跡（下田市）出土品の保存処理を実施し、市町からの受託事業として富士市（千人塚古墳出土品）、伊豆の国市（平石4号墳出土品）からの保存処理事業を実施した。

金属製品の保存処理は、X線写真を撮影してサビに覆われた金属製品の原形を確認し、不要なサビや泥を除去するクリーニングを行い、安定化処理として防錆剤の含浸、強化処理としてアクリル樹脂の減圧含浸を行った。折損している金属製品はすべて接合し、欠損部を補填材で充填・整形し、アクリル絵具で彩色した。

富士市からの受託品では、金銅製飾金具の表面サビを除去して鍍金面の表出作業を行った。伊豆の国市からの受託品では、錆化によりバラバラに剥離した鉄製品を部分ごとに分離して洗浄し、再強化後に接合して全形の復元を行った。



静岡市駿府城三ノ丸出土 木札 赤外線写真



登呂遺跡出土品 丸木舟 処理後+台座



富士市千人塚古墳出土
金銅製飾金具 処理前（上）後（下）

(4) 報告書の発刊

令和7年度は、表のとおり3事業の調査を終了し、報告書を刊行した。

報告書刊行一覧

集	遺跡名	所在地	主な内容
76	荒工遺跡	沼津市	<p>愛鷹山南麓の南に向かってのびる丘陵部下部に荒工遺跡は立地する。南北方向に張り出す、標高約78mから74mの東西幅の狭い丘陵で、丘陵の東西端部が、南北方向のやや深い谷により、隣の丘陵と隔てられている。</p> <p>今回の調査では調査区の南側を中心として多量の土器、石器、礫等が出土した。遺構に明確に伴うものは少なく、遺物を多量に含む包含層からの出土である。土器は打越式が大半であり、これに併行する石山式があり、この二者で出土土器の90%以上を占める。縄文時代の遺構は、打越式期の集石遺構7基と焼土跡3基が検出された。打越式と石山式のほかに、早期の子母口式、清水柳E類、野島式段階、鶴ヶ島台式、鶴ヶ島台式～芽山下層式段階、天神山式、前期初頭の木島式、下吉井式併行の土器も発見されているが、数量は極めて少ない。</p> <p>石器は打越式期の単一時期の組成を示す貴重なもので、磨石・敲石類、石皿・台石類が多く、石鏃や珧状耳飾も発見された。弥生時代後期の遺構は2基の堅穴建物を検出した。また、縄文時代相当層から旧石器時代の黒曜石製ナイフ形石器1点が出土した。</p>
77	敷根石丁場遺跡	下田市	<p>近世～近代にかけて採掘された伊豆凝灰岩の石丁場遺跡である。下田市敷根を中心とした山中において、石切職人が石材を切り出した複数の採石跡が確認されており、明治時代を最盛期とした石材産業をうかがい知ることができる遺跡群である。</p> <p>今回の調査では、調査対象範囲全体の地形測量を行うとともに、確認された10箇所の採石場跡について現況個別測量調査や部分的な発掘調査を含む詳細調査を実施し、遺構の記録を作成した。採石作業に係る石製品や陶磁器、牛乳瓶、銭貨が出土した。</p>
78	曲金北遺跡Ⅲ	静岡市	<p>曲金北遺跡は、静岡平野の南部、安倍川扇状地の東側に広がる沖積平野に位置する。JR東静岡駅のすぐ南側、東海道本線に沿う東西1.1km、南北0.2～0.25kmの範囲一帯に広がっている。地表面より1.6～1.7m下(標高7.20～8.70m)に遺跡が存在し、包含層は弥生時代後期から近世・近代までの遺物を含んでいた。</p> <p>当遺跡には、奈良～平安時代の官路である古代東海道が、第1次調査で発見されている。今回の調査は、第21次調査にあたり、第1次調査の西側と第12次調査の北側に隣接する。これまでも確認されてきた弥生時代から古墳時代の大畦畔や小畦畔、溝状遺構が繋がる成果を得た。また周辺で行われた発掘調査により、水田は長沼から曲金一帯の平野に広がっていることが明らかとなった。</p>

4 出土文化財の管理

(1) 出土文化財保管庫の整備

ア 出土文化財の保管状況

南棟と保管庫（旧体育館）を出土文化財の収蔵庫として使用している。出土文化財の保管環境に適した場所と活用頻度に応じた保管体制をとるために、下記の方針で収納している。

- ・活用頻度の高い出土文化財のうち、土器・石器等は南棟の各収蔵庫に遺跡単位で収納する。
- ・活用頻度の高い木製品は、南棟の収蔵庫 11 と保管庫に設置したオープンラックに遺跡単位で収納する。
- ・活用頻度の低い出土文化財は、保管庫に遺跡単位で収納する。
- ・金属製品はすべて、24 時間温湿度管理する特別収蔵庫に収納する。
- ・写真フィルムは、すべて空調管理可能な写真保管庫に収納する。
- ・図面ファイルは、図面保管室と南棟の収蔵庫 17、18 に遺跡単位で収納する。

出土文化財保管庫及び保管数量

(令和 7 年度末)

名称	保管場所	種別	保管数
埋蔵文化財センター	南棟、保管庫	出土品	37,485 箱
	保管庫	形状保存品	18 点
	南棟	写真	13,722 冊
	南棟、東棟	図面	3,582 冊
	北棟	図書	2,774 冊

イ 出土文化財保管台帳の整備

出土文化財の保管場所の入力を行い、収蔵庫及び保管庫、図面保管室、写真保管室の配架・配置図の作成を行った。また、出土品及び記録類の再収納と、保管台帳の再編集を行った。

(2) 出土文化財評価会

開催日時：令和 8 年 2 月 27 日（金）午後 1 時 30 分から午後 5 時まで

評価員：筑波大学 滝沢 誠 教授

静岡大学 篠原和大 教授

瀬戸市埋蔵文化財センター 岡本直久 所長

対象遺跡：船津 1 古墳群ほか 計 5 遺跡

No.	発行機関	報告書番号	遺跡（報告書名）
1	センター	69	船津 1 古墳群

No.	発行機関	報告書番号	遺跡（報告書名）
2	センター	70	西浦足保林石丁場遺跡、久料仲洞丁場遺跡
3	センター	71	上原遺跡
4	財団	40	瀬名遺跡（瀬名遺跡Ⅰ）
5	財団	43	瀬名遺跡（瀬名遺跡Ⅱ）
6	財団	47	瀬名遺跡（瀬名遺跡Ⅲ）
7	財団	61	瀬名遺跡（瀬名遺跡Ⅳ）
8	財団	79	瀬名遺跡（瀬名遺跡Ⅴ）

（3）出土文化財の貸出等

・貸出 14 件（長期貸出更新分含）・閲覧申請 24 件・掲載申請 21 件・撮影申請 7 件

貸出一覧①（通常貸出分）

申請者	目的	遺跡名	資料名
静岡市長 難波 喬司	令和7年度静岡市立登呂博物館夏季企画展「いせきのZOO」展示物として使用。	瀬名川遺跡、川合遺跡、神明原元宮川遺跡、長崎遺跡、瀬名遺跡、角江遺跡	骨角器8点、土器6点、土製品6点、木製品3点
磐田市教育委員会文化財課課長 神谷 英雄	令和7年度文化財課企画展で展示	元島遺跡、富里遺跡	金属製品1点、石製品1点、土器11点、磁器1点
鈴鹿市長 末松 則子	鈴鹿市考古博物館特別展の展示	尾羽廃寺跡	土器10点
浜松市博物館館長 鈴木 一有	特別展「伊場遺跡群と弥生時代後期の文化」にて展示のため	椿野遺跡、角江遺跡、石畑Ⅰ遺跡、領家遺跡	金属製品6点、木製品1点、石製品1点、土器4点
静岡県立美術館館長 木下 直之	『開館40周年記念展 静岡県立美術館をひらく7つの扉』展出品のため	角江遺跡	土器1点
鈴鹿市長 末松 則子	鈴鹿市考古博物館特別展の展示	尾羽廃寺跡	炭化米1箱
浜松市博物館館長 鈴木 一有	特別展「射場遺跡群と弥生時代後期の文化」にて展示のため	植出北Ⅱ遺跡	金属製品1点
富士山かぐや姫ミュージアム館長 石川 武男	富士山かぐや姫ミュージアム企画展にて展示する	富士岡1古墳群、向山遺跡、小池遺跡、桜畑上遺跡、押出シ遺跡、駿河山遺跡、角江遺跡、青木原遺跡、元宮川・神明原遺跡、一反田遺跡、長崎遺跡	土器45点、土製品41点、石製品18点、木製品24点、金属製品1点、骨角製品3点
公益財団法人佐野美術館館長 坪井 則子	展覧会での展示	堂ヶ谷経塚	金属製品4点

貸出一覧②（長期貸出分 各年2回更新）

申請者	目的	遺跡名	資料名
ふじのくに地球環境史ミュージアム 館長 佐藤 洋一郎	常設展示品として継続的に使用する	押出シ遺跡	土器1点
富士山かぐや姫ミュージアム館長 石川 武男	富士山かぐや姫ミュージアム常設展にて展示するため	天ヶ沢東遺跡、古木戸B遺跡、矢川上C遺跡	石器710点
独立行政法人国立文化財機構東京国立博物館館長 藤原 誠	平成館考古展示室における展示並びに調査研究のため	角江遺跡、長崎遺跡、川合遺跡、瀬名遺跡	木製品5点

申請者	目的	遺跡名	資料名
焼津市文化振興課 課長 日下部 充	焼津市歴史民俗資料館常設展示室にて 展示するため	笛吹段古墳群、兎沢古墳群	土器 65 点、石製品 4 点、 金属製品 7 点
国立歴史民俗博物館 館長 西谷 大	国立歴史民俗博物館総合展示第 1 展示 室（先史・古代）（大テーマ I 最終水 期に生きた人々）の常設展示	富士石遺跡、梅ノ木沢遺跡※、 西洞遺跡	石器 30 点

※静岡県指定文化財「梅ノ木沢遺跡出土斧形石器 8 点」の一部を含む。

閲覧申請一覧

申請者	目的	遺跡名	資料名
個人	調査研究	牛岡遺跡、大和田遺跡、平島 I 遺跡	石製品 1 点、土器 69 点
個人	玉類の流通に関する研究	川合遺跡、フケ遺跡、茶木畑 遺跡、桜畑上遺跡、駿河山遺 跡、富士石遺跡、原分古墳、 秋葉林 1 号墳、雲岩寺古墳群、 高根山古墳群、有東遺跡	石製品 379 点、金属製品 9 点
個人	考古学研究	池田 B 遺跡	土器 189 点
静岡市立登呂博物館 館長 岡本 渉	資料調査	瀬名川遺跡、川合遺跡、神明 原・元宮川遺跡、長崎遺跡、 瀬名遺跡、角江遺跡	角器 8 点、土器 6 点、 土製品 6 点、木製品 3 点
個人	調査研究	篠場瓦窯跡	土器 80 点、土製品 115 点
個人	個人研究	塚松遺跡	石器 17 点
個人	資料調査	中通遺跡、中原遺跡、向畑遺 跡、大和田遺跡、平島 I 遺跡、 角庵 I 遺跡	土器 204 点
個人	個人研究	原川遺跡	土製品 3 点
個人	卒論研究	衣原古窯群	土器 2 点
富士山かぐや姫ミュージアム 館長 石川 武男	展示会に係る資料調査	富士岡第 1 号墳、向山遺跡、 小池遺跡、桜畑上遺跡、押出 シ遺跡、駿河山遺跡、角江遺 跡、青木原遺跡、元宮川・神 明原遺跡、一反田遺跡、長崎 遺跡	土器 50 点、土製品 44 点、 石製品 18 点、金属製品 1 点、木製品 25 点、骨角製 品 6 点
富士宮市長 須藤 秀忠	資料調査（富士宮市史編さん事業）	富沢内野山 1 西遺跡、中原遺 跡	土器 97 点
個人	卒業論文のための資料調査	篠場瓦窯跡	土製品 43 点
個人	資料調査	佛ヶ尾遺跡、下ノ大窪遺跡	土器 19 点
個人	個人研究	将監名遺跡	石器 78 点
個人	資料調査	東野遺跡	土器 43 点
個人	研究のための資料調査	寺家前遺跡、神明原・元宮川 遺跡、川合遺跡、キョウダイ ヤト遺跡、曲金北遺跡	土器 25 点
個人	研究のための資料調査	キョウダイヤト遺跡、寺家前 遺跡、助宗古窯群、衣原遺跡、 笠井若林遺跡、恒武東覚遺跡、 椿野遺跡	土器 30 点
個人	弥生時代中期土器並行期研究会におけ る研究	川合遺跡、瀬名遺跡、瀬名川 遺跡、西通北遺跡	土器 88 点、石器 6 点
個人	個人研究	丸尾北遺跡、大葛大端ヶ III 遺 跡、中通遺跡、富沢内野山 I 西遺跡	土器 340 点

申請者	目的	遺跡名	資料名
個人	調査研究	川合遺跡、内荒遺跡、キョウダイヤト遺跡、曲金北遺跡、神明原・元宮川遺跡、助宗窯跡群、衣原遺跡、寺家前遺跡、中島B遺跡、恒武東覚遺跡、恒武西浦遺跡、恒武西宮遺跡、椿野遺跡、井通遺跡	土器 48 点
公益財団法人佐野美術館 学芸員 志田 理子	展覧会での借用のための事前調査	堂ヶ谷経塚	金属製品 6 点
山梨県立考古博物館 館長 高橋 龍三郎	資料借用のための資料調査	押出シ遺跡、的場遺跡	土器 2 点
伊豆の国市教育委員会文化財課 課長 工藤 雄一郎	展示資料借用のための資料調査	萑山城跡	土器 25 点
個人	個人研究	助宗古窯跡群	土製品 1 点

掲載申請一覧

申請者	目的	遺跡名	資料名
株式会社図書館流通センター 中部支社長 伊藤 寛	浜松市立細江・引佐・三ヶ日図書館、浜松市博物館連携市民向け講座『歴史でつなぐ奥浜名湖』②の広報チラシ掲載画像に使用。	井通遺跡	画像 2 葉
実教出版株式会社 代表取締役社長 小田 良次	高等学校用検定教科書『日本史探究新訂版』に掲載する	角江遺跡	画像 1 葉
学校法人高宮学園た々木ゼミナール 理事長 高宮 英郎	大学受験生向け講義用教材(2025 代々木ゼミナール夏期テキスト『局面を打開する日本史<共通テスト出題形式別対策>』)に掲載。	曲金北遺跡	画像 1 葉
株式会社アフロ 代表取締役 青木 紘二	小学 5 年生対象の社会科教材に掲載する。	押出シ遺跡	画像 1 葉
個人	書籍(『鶴山丸山古墳の被葬者と秦氏・東漢氏の救出大作戦』)に掲載する。	文殊堂 11 号墳	実測図 1 枚
株式会社 新泉社 代表取締役 石垣 雅設	書籍(『銅鐸の世界』)に掲載する。	角江遺跡、西の谷遺跡	画像 8 葉
磐田市教育委員会 文化財課長 神谷 英雄	展示パンフレットに掲載する	元島遺跡	画像 1 葉
浜松市博物館 館長 鈴木 一有	浜松市市民ミュージアム浜北の常設展示パネルとして使用する	東原遺跡、大屋敷A古墳群、中通遺跡、中屋遺跡、篠場瓦窯跡	画像 10 葉
株式会社フォト・オリジナル 代表取締役 安徳 五男	高校 2 年生向け日本史教材に掲載する	角江遺跡	画像 1 葉
新居関所史料館 館長 竹中 幹晴	新居関所史料館の企画展示パネルとして使用する	新居関跡	画像 3 葉
数研出版株式会社 代表取締役社長 星野 泰也	書籍『改訂版 チェック&演習 日本史』に掲載する	曲金北遺跡	画像 1 葉
富士市教育委員会文化財課 課長 植松 良夫	富士市指定史跡千人塚古墳の案内看板及びパンフレットに使用する	須津古墳群	画像 3 葉
鈴鹿市長 末松 則子	鈴鹿市考古博物館特別展示のパネル展示及び図録に掲載する	尾羽廃寺跡	画像 8 葉
株式会社KADOKAWA 竹内 祐子	書籍・電子書籍『馬と人の古代史』に掲載する。	曲金北遺跡	画像 1 葉
有限会社アート・エフ 代表取締役 中村 夏子	学校販売教材『大学入試共通テスト 歴史総合 日本史探究 単元別問題集』に掲載する。	曲金北遺跡	画像 1 葉
浜松市博物館 館長 鈴木 一有	特別展「伊場遺跡群と弥生時代後期の文化」のパネルに掲載する。	石畑 I 遺跡、領家遺跡	画像 8 葉

申請者	目的	遺跡名	資料名
静岡県立美術館 館長 木下 直之	「開館 40 周年記念展 静岡県立美術館をひらく 7 つの窓」図録に掲載する	角江遺跡	画像 1 葉
山中湖村史編纂委員会 会長 渡邊 稔	山中湖村史報告会で使用し、地元 CATV が取材・放送する	曲金北遺跡	図 1 図 画像 1 葉
サイネット株式会社 代表取締役 山路 熟	帝国書院発行『図説日本史通覧』に掲載するため。	曲金北遺跡	画像 1 葉
株式会社アフロ 代表取締役 青木 紘二	大学入試対策模試問題冊子に掲載する	角江遺跡	画像 1 葉
富士山かぐや姫ミュージアム 館長 石川 武男	企画展展示図録・チラシ等に掲載する	青木原遺跡、角江遺跡	画像 2 葉

撮影申請一覧

申請者	目的	遺跡名	資料名
個人	論文の資料として使用	恒武西宮・西浦遺跡、元島遺跡、井通遺跡、寺家前遺跡	土製品、鉄製品
個人	個人研究	塚松遺跡	石器
個人	卒論研究	衣原古窯群	土器
富士山かぐや姫ミュージアム 館長 石川 武男	展示会図録への掲載	富士岡第 1 号墳、向山遺跡、小池遺跡、桜畑上遺跡、押出シ遺跡、駿河山遺跡、角江遺跡、青木原遺跡、元宮川・神明原遺跡、一反田遺跡、長崎遺跡	土器、土製品、石製品、金属製品、木製品、骨角製品
個人	卒業論文に掲載	篠場瓦窯跡	土製品
個人	卒業論文に掲載	佛ヶ尾遺跡、下ノ大窪遺跡	土器
個人	個人研究	キョウダイヤト遺跡、寺家前遺跡、助宗古窯群、衣原遺跡、笠井若林遺跡、恒武東覚遺跡、椿野遺跡	土器

5 埋蔵文化財の活用

(1) 体験授業・出前授業

体験・出前講座一覧 43 件 体：体験授業（9） 出：出前授業（34）

区分	派遣先	日時	参加者	内容
出	富士宮市立東小学校	令和 7 年 5 月 13 日(火)	6 年生 80 人	土器分類、石器試切、火起こし
出	伊東市立大池小学校	令和 7 年 5 月 15 日(木)	6 年生 65 人	土器分類、火起こし
出	静岡市立安倍口小学校	令和 7 年 5 月 20 日(火)	6 年生 43 人	土器分類、火起こし
出	静岡市立清水不二見小学校	令和 7 年 5 月 27 日(火)	6 年生 57 人	土器分類、火起こし
出	静岡市立新通小学校	令和 7 年 6 月 3 日(火)	6 年生 33 人	土器分類、石器試切、火起こし、講話
出	静岡市立由比北小学校	令和 7 年 6 月 10 日(火)	6 年生 6 人	土器分類、火起こし
体	静岡市立長田東小学校	令和 7 年 6 月 5 日(木)	6 年生 145 人	土器分類、石器試切、火起こし、展示見学
体	長泉町立南小学校	令和 7 年 6 月 17 日(火)	6 年生 122 人	土器分類、石器試切、火起こし、展示見学
出	沼津市立長井崎小中一貫学校	令和 7 年 6 月 19 日(木)	6 年生 9 人	土器分類、石器試切、火起こし
出	静岡市立大谷小学校	令和 7 年 6 月 24 日(火)	6 年生 60 人	土器分類、石器試切、火起こし
出	掛川市立千浜小学校	令和 7 年 6 月 26 日(木)	6 年生 26 人	土器分類、石器試切、火起こし
出	磐田市立豊岡北小学校	令和 7 年 7 月 1 日(火)	6 年生 44 人	土器分類、石器試切、火起こし

区分	派遣先	日時	参加者	内容
出	御前崎市立白羽小学校	令和7年7月3日(木)	6年生 36人	土器分類、石器試切、火起こし
体	菊川市立堀之内小学校	令和7年7月4日(金)	6年生 70人	施設展示見学、弓矢
出	藤枝市立葉梨西北小学校	令和7年7月8日(火)	6年生 11人	土器分類、火起こし
出	静岡市立清水高部小学校	令和7年7月10日(木)	6年生 62人	土器分類、石器試切、火起こし
出	静岡市立清水袖師小学校	令和7年7月15日(火)	6年生 66人	土器分類、石器試切、火起こし
出	蒲原生涯学習交流館	令和7年7月22日(火)	1~6年生 20人	ミニミニ土偶づくり
体	放課後デイサービス (カブトムシ)	令和7年7月24日(木)	1~6年生 10人	勾玉作り
出	飯田生涯学習交流館	令和7年7月29日(火)	1~6年生 16人	ミニミニはにわづくり
出	由比生涯学習交流館	令和7年8月5日(火)	1~6年生 15人	ミニミニはにわづくり
出	清水生涯学習交流館	令和7年8月7日(木)	1~6年生 16人	ミニミニはにわづくり
出	浜田生涯学習交流館	令和7年8月19日(火)	1~6年生 20人	ミニミニはにわづくり
出	不二見生涯学習交流館	令和7年8月19日(火)	1~6年生 16人	ミニミニはにわづくり
出	江尻生涯学習交流館	令和7年8月26日(火)	1~6年生 20人	勾玉作り
出	磐田市立豊田東小学校	令和7年9月4日(木)	6年生 49人	土器分類、火起こし、講話
出	袖師生涯学習交流館	令和7年9月25日(木)	成人 30人	講話
出	静岡市立清水浜田小学校	令和7年9月30日(火)	6年生 25人	まが玉づくり
出	袋井市立袋井東小学校	令和7年10月2日(木)	6年生 50人	土器分類、石器試切、火起こし
出	両河内小中学校	令和7年10月7日(火)	6年生 13人	石器試切、勾玉作り
出	沼津市立大岡小学校	令和7年10月9日(木)	1~6年生 12人	ミニミニはにわづくり
出	相川学園静岡高等学校(通信制)	令和7年10月23日(木)	高校生 15人	勾玉作り
出	静岡県立清水特別支援学校	令和7年11月6日(木)	5年生 16人	ミニミニはにわづくり
出	静岡県立清水特別支援学校	令和7年11月11日(火)	6年生 18人	ミニミニ土偶づくり
出	不二見生涯学習交流館	令和7年11月18日(火)	成人 20人	勾玉作り
体	静岡サレジオ高等学校	令和7年12月16日(火)	高3生 25人	講話、施設展示見学
出	放課後等デイサービスばれっと船越	令和7年12月25日(木)	1~6年生 15人	ミニミニはにわづくり
出	中央第一児童クラブ	令和8年1月13日(火)	1~3年生 45人	土器分類、火おこし、ミニミニはにわづくり
体	放課後等デイサービスえまるじょん	令和7年12月23日(火)	1~6年生 18人	ミニミニはにわづくり
体	放課後等デイサービス f-labo	令和8年3月17日(火)	1~6年生 15人	勾玉作り
体	放課後等デイサービス VISION	令和8年3月19日(木)	小~高生 15人	施設展示見学、ミニミニはにわづくり
体	放課後等デイサービス やんちゃりか	令和8年3月24日(火)	小~高生 11人	施設展示見学、勾玉作り
出	清水町教育委員会	令和8年3月26日(木)	1~6年生 30人	ミニミニはにわづくり

体験用具貸出一覧

9 件

貸出先	日時	参加者	内容
静岡県立天竜高等学校	令和7年4/3～5/28	高校生 25 人	火起こし、土器分類、石器試切、弓矢
静岡市立城北小学校	令和7年6/2～6/6	6年生 120 人	火起こし、石器試切
富士市立南小学校	令和7年6/9～6/13	6年生 150 人	火起こし、土器分類、弓矢
静岡市立清水飯田小学校	令和7年6/23～6/27	6年生 103 人	火起こし、土器分類、石器試切、弓矢
島田市立初倉南小学校	令和7年6/30～7/4	6年生 53 人	火起こし、土器分類、石器試切、弓矢、ミニミニはにわづくり
静岡市立長田北小学校	令和7年8/29～9/9	6年生 90 人	ミニミニはにわづくり
三池平古墳まつり実行委員会	令和7年9/24～10/1	一般 500 人	火起こし、土器分類
富士宮市立富士見小学校	令和7年11/5～11/14	6年生 18 人	火起こし
藤枝市立高洲南小学校	令和7年12/5～令和8年1/26	6年生 21 人	火起こし、土器分類

(2) 古代体験まつり フェスタ埋文 2025

中学生以下とその保護者を対象とした古代のものづくりの方法や生活の知恵について体験を通じて知ることができるイベントである。令和7年8月23日(土)、埋蔵文化財センターを会場として開催し、165人の参加があった。

当センターが実施するまが玉づくり、火起こし、弓矢、古代服試着の各種体験に加え、ミニミニはにわづくり体験(富士山かぐや姫ミュージアム)、くずし字クイズ・しおりづくり体験(三島市郷土資料館)、ミニミニ発掘体験(東海大学人文学部丸山研究室)、センター探検隊・クイズラリー(常葉大学大学院安藤研究室)、ポスターセッション(静岡県富士山世界遺産センター)を開催し、県立韮山高校、県立沼津城北高校生徒がボランティアとして参加し来場者の対応にあたった。また、センター入口では地元業者による軽食販売も行い、県内の博物館、大学、高校、地域の協力を得て、事業を推進した。



火起こし体験



弓矢体験



古代服試着体験



ミニミニはにわづくり体験

(3) 遺跡調査報告会「しずおかの原像をさぐる」

静岡県の歴史文化を知る上で注目される発掘調査成果の報告を通じて、地域の埋蔵文化財や歴史に対する理解・関心を深めてもらう機会を提供するものである。令和7年10月18日(土)、伊豆の国市葦山文化センター(葦山時代劇場)で開催し、来場者数は117人であった。旧石器時代から中世までの県内各地の4遺跡を取り上げ、発掘調査成果情報を発信した。また、初めての試みとして、現地説明会とロビーでの県内8遺跡の発掘調査成果のポスターセッション、国指定史跡葦山城跡附付城跡、建設中の文化財展示施設「伊豆の国歴史館いずしる」の現場説明会を同時開催した。

報告内容・講師

「第Ⅶ黑色帯出土局部磨製石斧、埋甕内から出土したヒスイ製品 長泉町梅ノ木平遺跡」

廣瀬高文氏 (長泉町教育委員会)

「弥生時代の方形周溝墓群から近世まで 袋井市大門遺跡・大門Ⅲ遺跡」

鈴木伸太郎 (当センター)

「「十」と書かれた土器が多数出土 裾野市上原遺跡」

岩本 貴 (当センター)

「戦国の始まりと終わりを語る城 伊豆の国市葦山城跡及び付城跡群」

島田章広氏 (伊豆の国市教育委員会)



報告会場の様子



調査報告



ポスターセッション



現地説明会 (国指定史跡葦山城跡附付城)

(4) 埋文セミナー・考古学技術体験

ア 埋文セミナー

埋文セミナーは一般向け講座として実施している。今年度は『静岡県が発掘した遺跡をみつめなおす』をテーマとし、全3回の講座を行った。

第1回は「元島遺跡をみつめなおす」、第2回は「富士石遺跡をみつめなおす」、第3回は「上志戸呂古窯をみつめなおす」と題し、これまで県が発掘調査した遺跡を取り上げ、近年の研究成果を踏まえた講義を行った。

イ 考古学技術体験（全5回）

考古学技術体験は、県民に対しセンターの業務及び文化財保護への理解を深めることを目的として実施している。今年度は、対象を記録保存を目的とした発掘調査に必要な技術全般へと拡大し、洗浄・接合・実測・写真撮影など、出土品の整理作業を体験できるプログラムを全5回の連続講座として行った。

第1回	5月22日(木)	14:00~16:00	概説：埋蔵文化財の記録保存
第2回	7月17日(木)	14:00~16:00	体験：土器の接合、復原
第3回	10月16日(木)	14:00~16:00	体験：土器の実測、トレース
第4回	12月18日(木)	14:00~16:00	体験：遺物の写真撮影、版組
第5回	1月22日(木)	14:00~16:00	体験：木製品の保存処理

定員 20人（全5回の連続講座）

参加費 無料



埋文セミナー第1回（元島遺跡をみつめなおす）



考古学技術体験（土器の洗浄）

(5) 常設展示

常設展示は、センター2階に3つの展示室を設け、静岡県内における旧石器時代から近世に至る数万年の歴史について、出土品を中心に考古学の視点から展示・解説している。今年度は、センター移転10周年を迎える来年に先立ち、より分かりやすい展示とすることを目的とした展示替えや、最新の学説等を踏まえた説明パネルの増設など、大規模なリニューアルを実施した。作業は8月最終週に展示を休止して行い、9月1日に再開した。

展示室3では埋文セミナーと連動し、7月19日～9月12日に「元島遺跡をみつめなおす」、9月18日～12月12日に「富士石遺跡をみつめなおす」、12月20日～3月31日に「上志戸呂古窯をみつめなおす」の関連展示を来館者に御覧いただいた。そのほか、展示室3では1月から「今月の逸品」と題して、鎌倉時代～江戸時代の出土品を月替わりで展示している。

年間来館者数：6,843人



展示室1（リニューアル後）



埋文セミナー第3回関連展示風景

(6) 出張展

長泉町、藤枝市を会場に、里帰り展と題し地元遺跡の出土品を選定して展示した。また、展示関連イベントとして、センター職員が講師を務める展示関連講座、ワークショップを開催した。

ア 長泉会場「里帰り展 長泉のお宝」

(ア) 会 期：令和7年6月1日（日）～令和7年8月31日（日）

(イ) 会 場：コミュニティながいずみ文化財展示館（駿東郡長泉町下土狩 1283-11）

(ウ) 来場者数：1,522人

(エ) 展示関連イベント

関連講座「長泉のお宝解説」 令和7年6月21日（土）参加者数20人

ワークショップ「旧石器のペンダントをつくろう!」 令和7年7月19日（土）参加者数14人



展示（長泉会場）



関連講座（長泉会場）

イ 藤枝会場「発掘された静岡～藤枝里帰り展～」

(ア) 会 期：令和8年1月9日（金）～2月15日（日）

(イ) 会 場：藤枝市郷土博物館（藤枝市若王子 500）

(ウ) 来場者数：2,011人

(エ) 関連イベント

関連講座「発掘された寺家前遺跡」 令和8年1月18日（日）参加者数58人

ワークショップ「古代の鏡をつくろう」 令和8年2月1日（日）参加者数27人



展示（藤枝会場）



ワークショップ（藤枝会場、チョコ鏡づくり）

(7) 文化財交流拡大事業

駿河、甲斐、信濃、越後に割拠した戦国武将にスポットを当て、知略、地勢、城をキーワードに各国のお国自慢対決を通じて歴史を知るシンポジウムを開催した。テーマに関連した学識経験者を講師とした記念講演、各県の専門家による事例報告、講演、報告者によるトークショーを開催するとともに、サテライト会場で各県城館遺跡関連出土品を展示した。

ア 開催日時 シンポジウム 令和8年2月21日(土) 10:30~16:00
展 示 令和8年2月13日(金)~3月8日(日) 9:00~18:00

イ 開催場所 メイン会場(シンポ) 静岡県静岡労政会館(静岡市葵区黒金町5-1)
サテライト会場(展示) 静岡市歴史博物館(静岡市葵区追手町4-16)

ウ 講演・報告

記念講演「戦国大名の外交-武田・今川・上杉のはざま-」

講師 酒入 陽子氏(流通経済大学スポーツ健康科学部教授)

事例報告1「旅する連歌師と上杉氏在京雑掌」

鶴巻 康志氏(新発田市立歴史図書館)

事例報告2「リベンジ大名仙石秀久と小諸城」

村石 正行氏(長野県立歴史館)

事例報告3「新府城から見た武田勝頼」

関間 俊明氏(韮崎市教育委員会)

事例報告4「海道一の弓取り」今川氏と駿府」

河合 修(静岡県埋蔵文化財センター)

エ 来場者数 シンポジウム 95人

展示 14,712人(施設入館者数)



シンポジウム トークショーの様子



サテライト展示 職員による展示解説の様子

(8) 調査指導等の依頼対応

依頼対応状況

内容	依頼者等	対応職員	実施日	参加者数
浜部遺跡出土遺物調査指導	磐田市	溝口 彰啓	令和7年5月22日	
北之原古墳群現地調査指導	森町	溝口 彰啓	令和7年5月27日	
長沼遺跡出土木製品の種類、用途等の特定作業指導	静岡市長	中川 律子	令和7年5月30日	
小長谷城跡調査指導	川根本町	河合 修	令和7年7月2日	
長沼遺跡出土木製品の種類、用途等の特定作業指導	静岡市長	中川 律子	令和7年7月18日	
静岡市登呂博物館学芸員実習施設見学等	静岡市教育長	大森 信宏	令和7年8月1日	14
国指定重要有形民俗文化財「山木遺跡の生産・生活用具」の展示手法の指導	伊豆の国市企画財政部企画課長	中川 律子	令和7年9月1日	
講座「尾羽廃寺跡の発掘調査」講師	袖師生涯学習交流館	武田 寛生	令和7年9月25日	30
土器修復に関する技術支援	川根本町	河合 修	令和7年10月14日	
富士宮市風祭川炭化樹取り上げ依頼	富士山世界遺産センター	大森 信宏 溝口 彰啓	令和7年10月14日	
神奈川県厚木市及川棚畑遺跡現地指導	公益財団法人かながわ考古学財団理事長	中川 律子	令和7年11月11日	
家康様御陣場跡現地調査指導	吉田町	溝口 彰啓	令和7年11月13日	
令和7年度文化財担当者専門研修「報告書編集基礎課程」講師	奈良文化財研究所	富樫 孝志	令和7年12月2日	28
講座「遺跡出土資料から川根本町の先史時代を学ぶ」講師	川根本町教育委員会社会教育課	鈴木 伸太郎	令和7年12月14日	40
小山町須走出土鉄製品 X 線撮影調査依頼	東京大学杉山浩平氏	大森 信宏	令和7年12月24日	
大見城跡整備事業現地指導	伊豆市	河合 修	令和8年1月8日	
講座「大昔の東伊豆#2」講師	東伊豆町立図書館	岩本 貴	令和8年1月31日	31
講演「蒲原城を学ぶ(中・上級編)」講師	静岡市立蒲原図書館	河合 修	令和8年2月15日	28
小山町須川橋埋没樹幹掘り出し依頼	富士山世界遺産センター	大森 信宏 溝口 彰啓	令和8年2月26日	
X 線撮影調査依頼	磐田市	大森 信宏	令和8年3月3日	
伊豆権現関連遺跡群調査検討委員会	熱海市	溝口 彰啓	令和8年3月3日	
列品等修理請負候補者選定委員会囑託	九州国立博物館	大森 信宏	令和8年3月11日	

内容	依頼者等	対応職員	実施日	参加者数
興国寺城跡資料調査指導	沼津市	溝口 彰啓	令和8年3月12日	
X線撮影調査依頼	掛川市	大森 信宏	令和8年3月17日	
花沢城跡整備検討委員会	焼津市	河合 修	令和8年3月20日	

静岡県文化財年報
(令和7年度)

令和8年6月発行

編集・発行

静岡県スポーツ・文化観光部

文化財課

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号

電話番号 054-221-2554

静岡県埋蔵文化財センター

〒421-3203 静岡市清水区蒲原 5300-5

電話番号 054-385-5500

